

**Windows Small Business Server
2011 Essentials
インストールガイド(SVIM 編)**

2011 年 11 月

富士通株式会社

改訂履歴

改版日時	版数	改版内容
2011.8.30	1.0	新規作成
2011.10.5	1.1	ServerView アップデートエージェントについて追記 PRIMERGY TX100 S2、TX100 S3 対応
2011.11.14	1.2	PRIMERGY MX130 S2 対応

本書では、以下の略称を使用することがあります。

	正式名称	略称
製品名	Microsoft® Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS 2011 Essentials
製品名	ServerView Installation Manager	SVIM

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

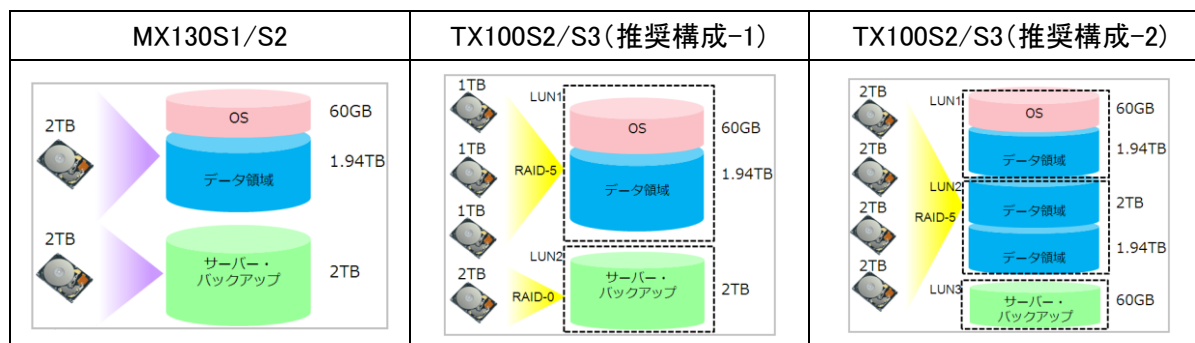
Microsoft, Windows, Windows Server は、Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

目次

はじめに.....	4
1 留意事項.....	5
2 ディスク冗長化構成を設定する.....	6
2.1 WebBIOS の起動.....	7
2.2 ディスクアレイ構成の作成.....	8
2.3 WebBIOS の終了.....	14
3 SBS2011 Essentials をインストールする.....	15
3.1 インストール準備.....	17
3.2 Windows Server インストール.....	45
3.3 SBS 2011 インストール.....	47

はじめに

本書では SBS2011 Essentials を PRIMERGY MX130 S1、MX130 S2、TX100 S2、TX100S3 へ SVIM を使用して下記構成でインストールする手順を説明しています。



推奨構成については、下記サイトの「Windows Small Business Server 2011 Essentials PRIMERGY 推奨ディスク構成」をご参照ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/technical/construct/pdf/sbs2011-essentials-disk.pdf>

1 留意事項

① PRIMERGY MX130 S1 では SBS2011 Essentials のインストール開始前に BIOS 設定を変更する必要があります。

下記のマニュアルをご参照の上、[Advanced]メニュー、[Peripheral Configuration]の[SATA Mode]を[AHCI]に変更して下さい。

PRIMERGY MX130 S1 用 D2974 BIOS セットアップユーティリティ リファレンスマニュアル

<http://manuals.ts.fujitsu.com/file/10004/mx130s1-d2974-bios-jp.pdf>

② Windows Small Business Server 2011 Essentials では SVIM を使用してインストールした ServerView アップデートエージェントが正しく動作しません。正しく動作させる方法については『DVD1 のソフトウェア留意事項』の『ServerView Update Agent の留意事項』をご参照ください。

(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note/svsdvd/>)

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/products/sbs-essentials/#p6>

2 ディスク冗長化構成を設定する

「TX100 S2/S3(推奨構成-1)」の場合、SBS2011 Essentials をインストールする前にディスク冗長化構成を設定します。

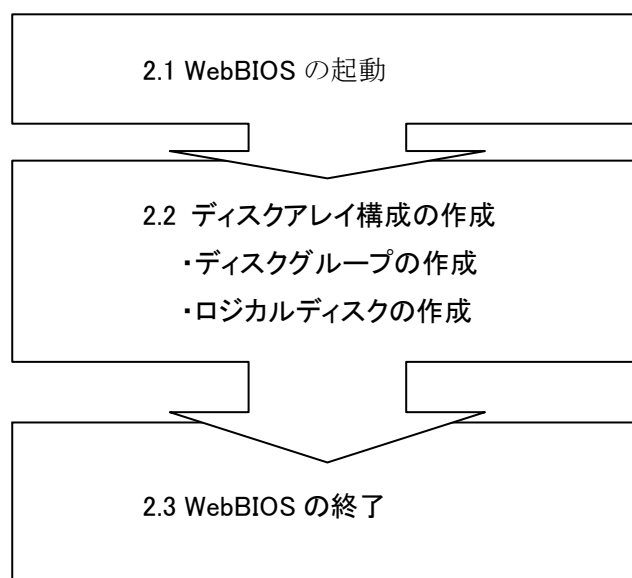
必要に応じてユーザーガイド「LSI MegaRAID® SAS Software」をご参照下さい。

(SVS-DVD2 もしくは <http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual/> から入手できます。)

本章では SBS2011 Essentials をインストールするのに必要な RAID 構成のポイントを説明します。

「MX130 S1/S2」、「TX100 S2/S3(推奨構成-2)」の場合は、「3 SBS2011 Essentials をインストールする」へ進みます。

下記の手順で実施します。



【ディスクアレイとは】

ディスクアレイまたは RAID (Redundant Array of Independent Disks) は、複数のハードディスクを用いて、単体ハードディスクよりも性能および信頼性を向上させる技術です。

また、RAID を使用することにより、例えば 1 台のハードディスクが故障したとき、データを損失せずにサーバを継続して運用できます。

RAID の詳細については下記のサイトをご参照下さい。

http://primeserver.fujitsu.com/primergy/hdd_construct/

2.1 WebBIOS の起動

サーバ本体の電源を入れた後、次のようなメッセージが画面に表示されている間に【Ctrl】+【H】キーを押します。

```
LSI MegaRAID SAS-MFI BIOS
Version 2.02.00 (Build May 23, 2008)
Copyright(c) 2008 LSI Corporation
HA -0 (Bus 8 Dev 0) RAID 5/6 SAS based on LSI MegaRAID
FW package: 9.1.1-0015

Battery Status: Fully charged

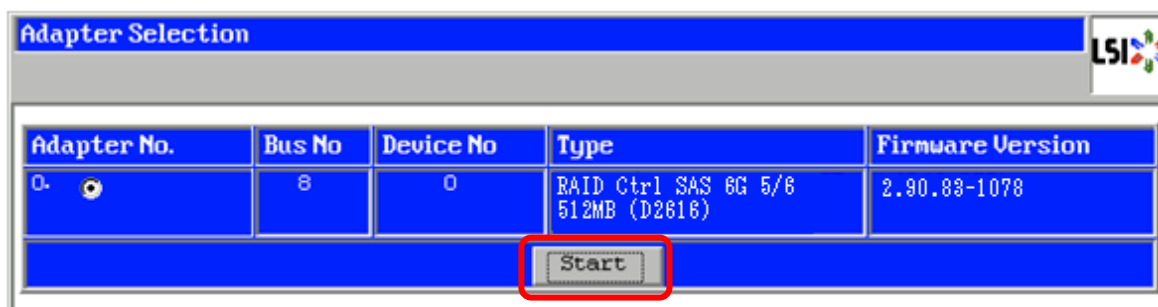
SLOT  ID    LUN  VENDOR  PRODUCT                      REVISION    CAPACITY
----  --    ---  -
1      6      0    FUJITSU  MAX3073RC                    52F6        70007MB
1      8      0    FUJITSU  MAX3073RC                    52F6        70007MB
1     11      0    FUJITSU  MAX3073RC                    52F6        70007MB
1      0      0    LSI      Virtual Drive                 RAID1       69472MB

1 Virtual Drive(s) found on the host adapter.

1 Virtual Drive(s) handled by BIOS
Press <Ctrl><H> for WebBIOS or press <Ctrl><Y> for Preboot CLI _
```

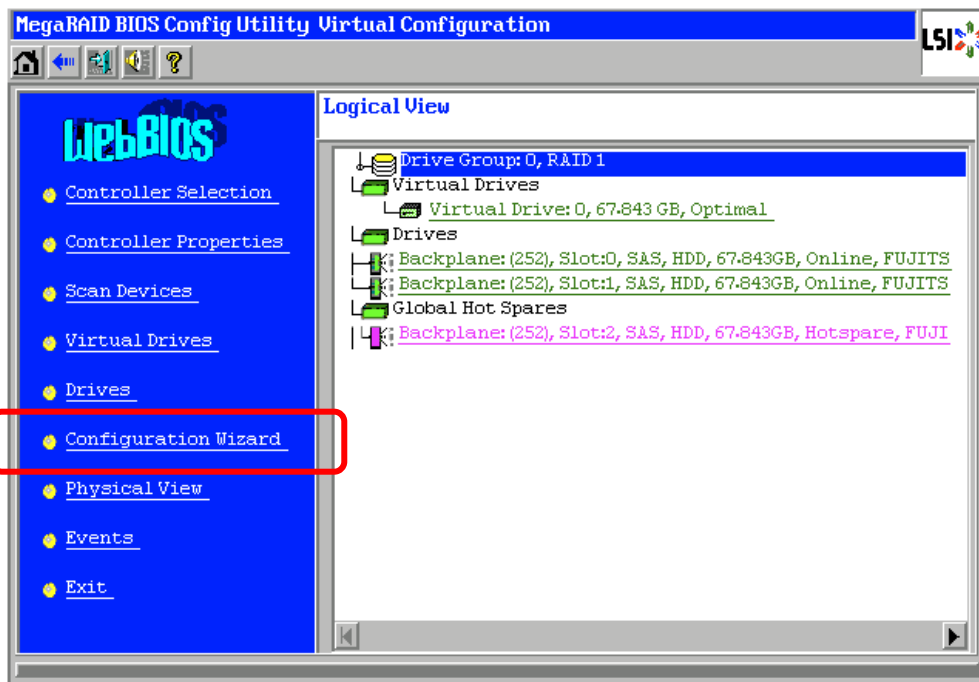
WebBIOS を起動すると、次の「Adapter Selection」画面が表示されます。

操作対象のアレイコントローラを選択して、「Start」をクリックすると、WebBIOS のメインメニューが表示されます。



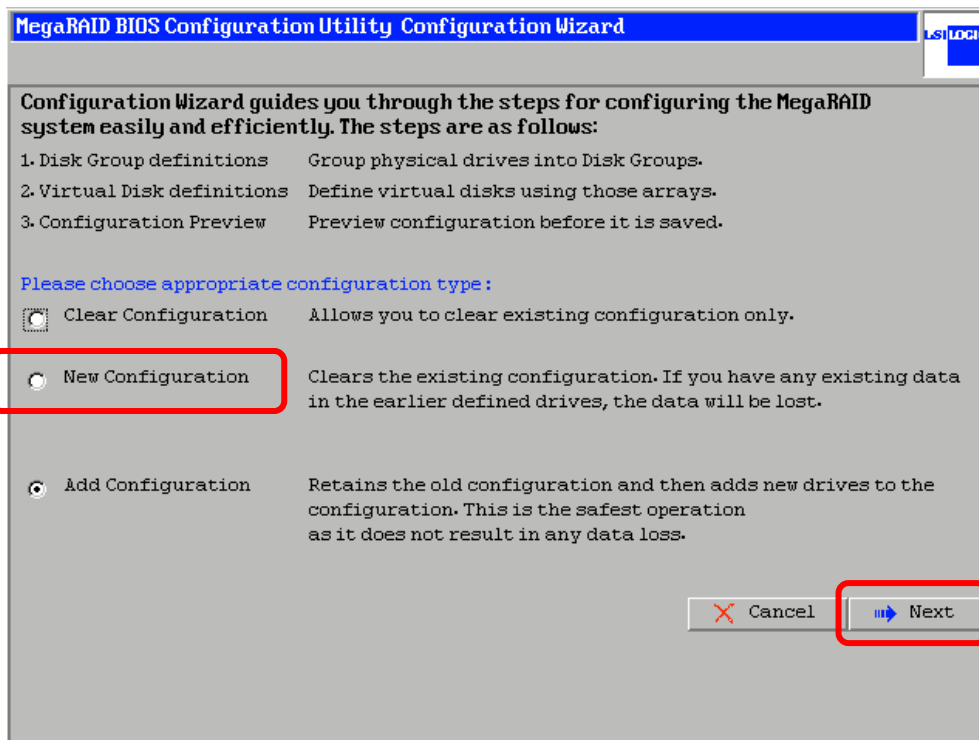
2.2 ディスカレイ構成の作成

メインメニューから「Configuration Wizard」を選択します。



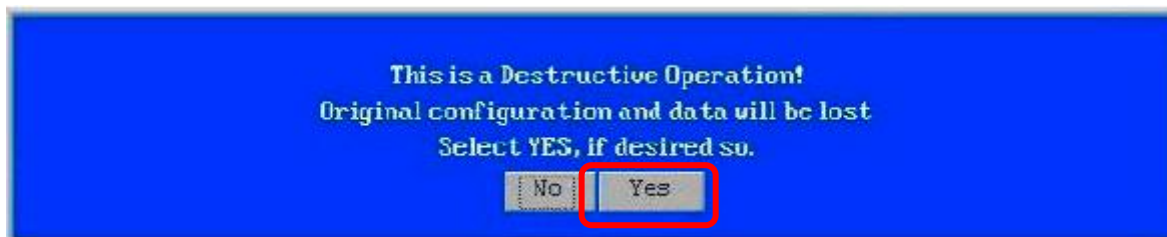
「Configuration Wizard」画面が表示されます。

ディスクアレイ構成を新規に作成する為に「New Configuration」を選択し、「Next」をクリックします。



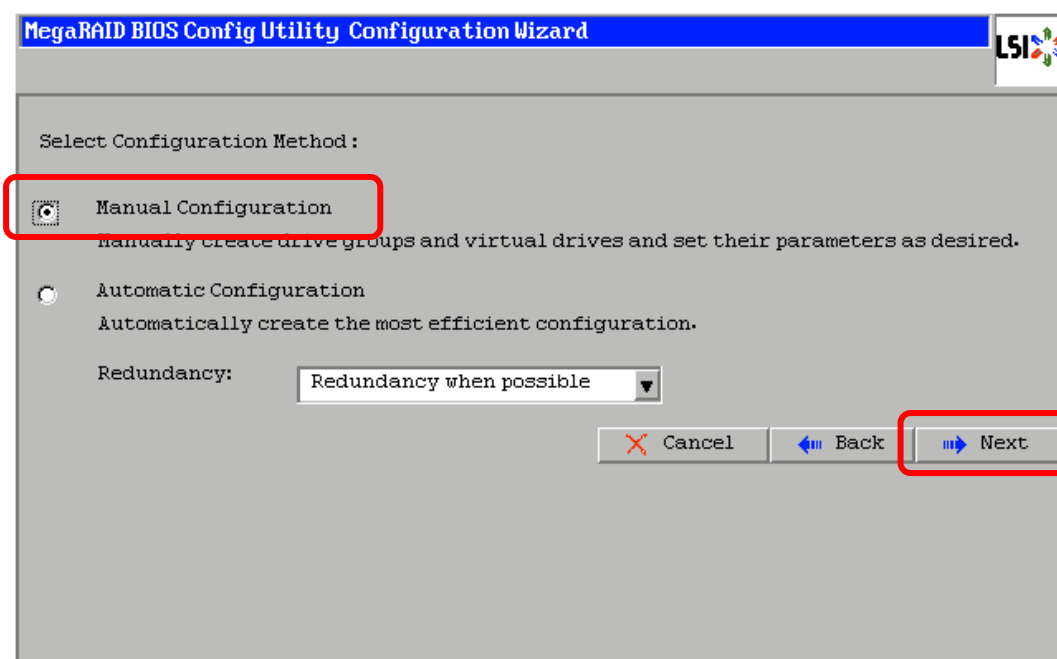
「New Configuration」を選択すると、その後の操作により既存の構成はすべて消去されてしまうため、次のような警告が表示される場合があります。(表示される文章が違う場合があります。)

「Yes」をクリックして続行してください。



次の画面で、「Manual Configuration」を選択し、「Next」をクリックします。

「Drive Group Definition」画面が表示されます。



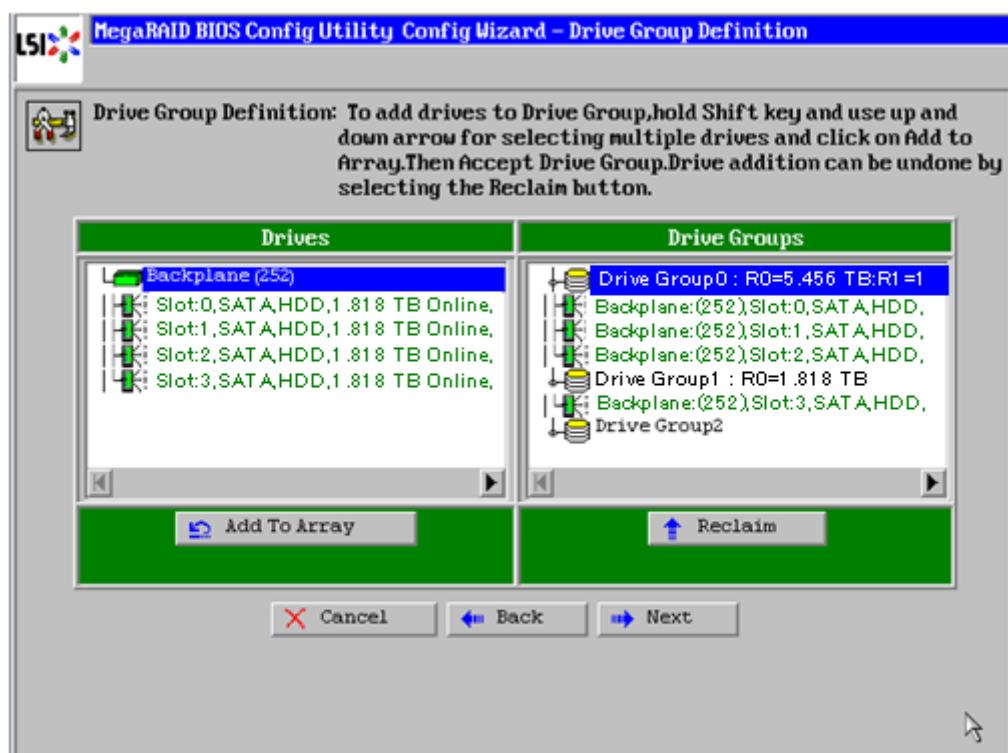
ディスクグループを作成します。

①「Drives」エリアから、1 つのディスクグループに追加したいハードディスクを【Ctrl】キーを押しながら 3 本選択し「Add To Array」をクリック後、「Accept DG」をクリックします。

残った 1 本を選択し「Add To Array」をクリック後、「Accept DG」をクリックします。

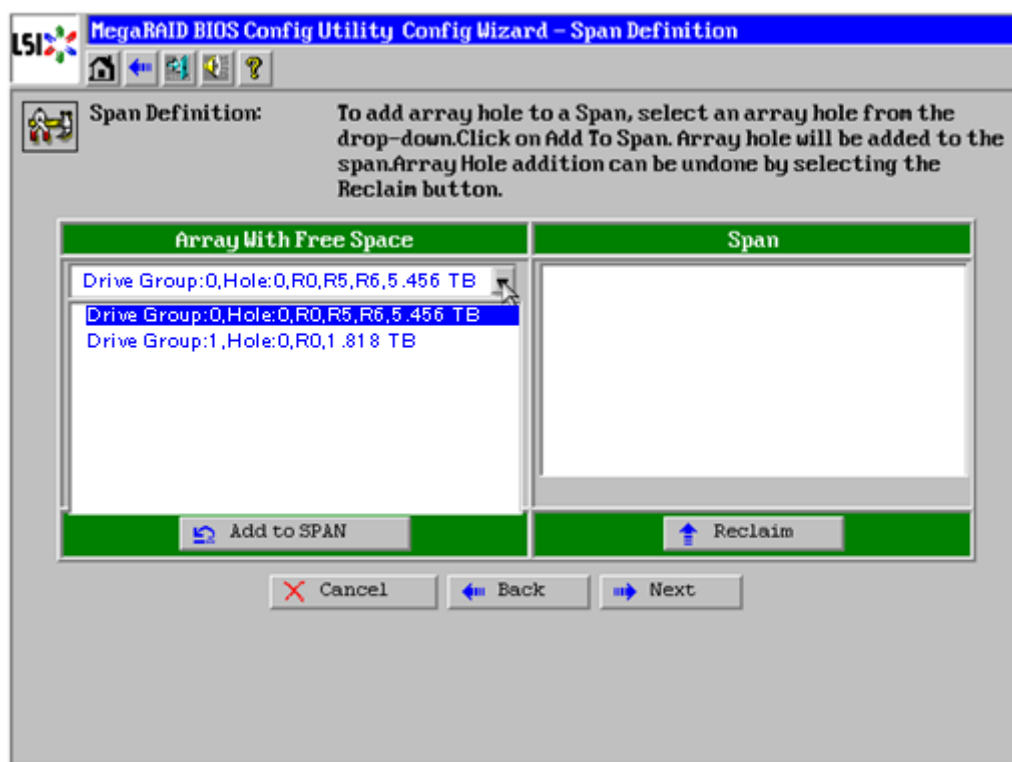
②下のように表示されているのを確認します。

(表示されるディスク種類、サイズはご使用の環境によって違います。)



③「Next」をクリックします。

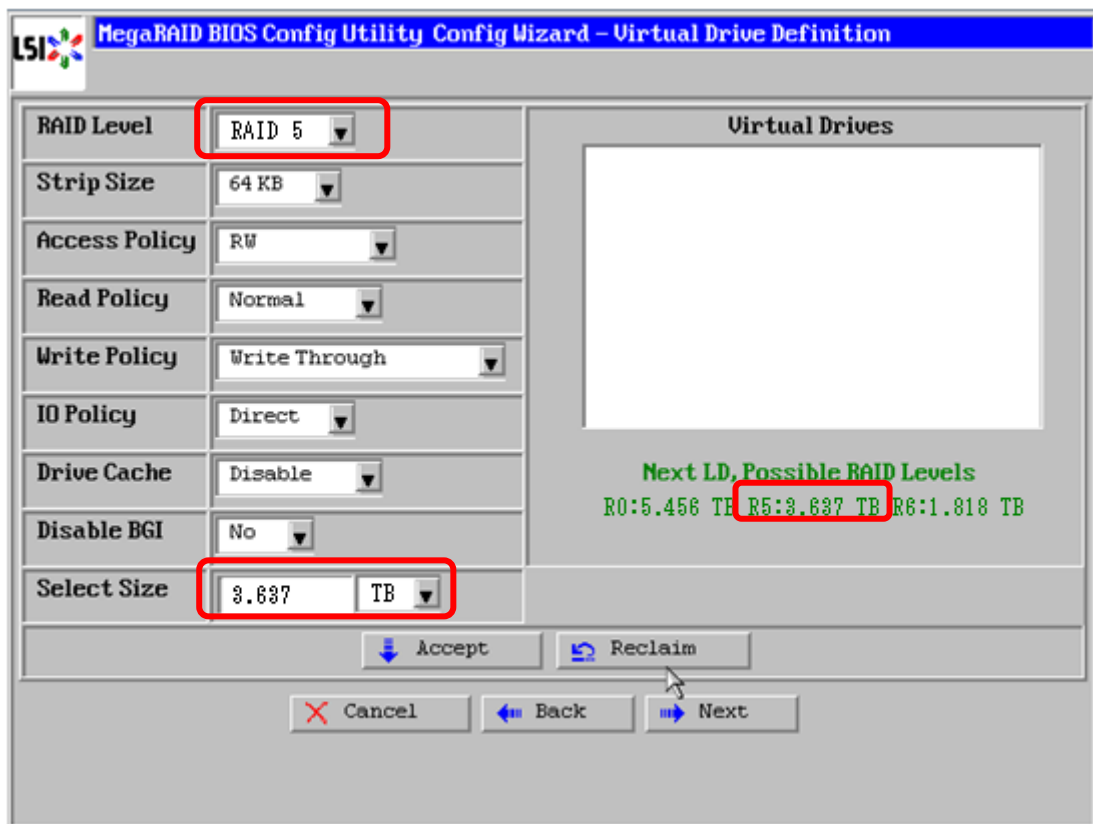
「Span Definition」画面が表示されます。



④「Array With Free Space」エリアで Drive Group:0 を選択し、「Add to SPAN」をクリックします。
ディスクグループの選択が確定され、「Span」エリアに追加されます。

⑤「Next」をクリックします。

「Virtual Drive Definition」画面が表示されます。

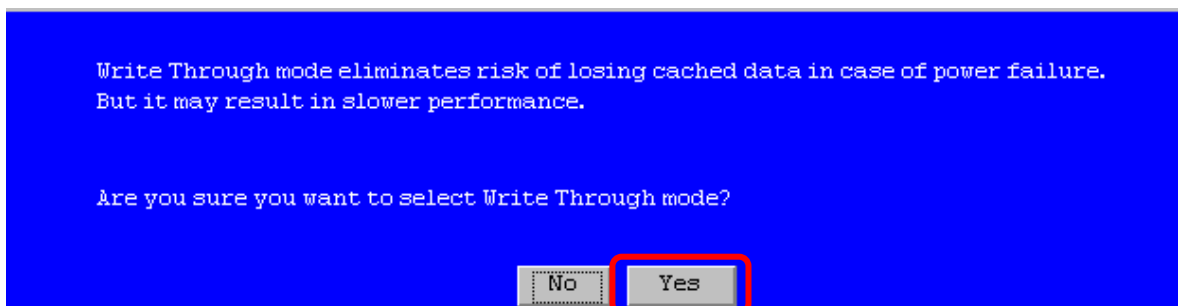


⑥[RAID Level]を RAID5 に設定し、[Select Size]に右の緑の文字で[R5]と書かれている箇所の数値を入力します。(ご使用の環境によってこの数値は例とは異なります。)

⑦「Accept」をクリックします。

ロジカルドライブが確定され、画面右側のエリアに追加されます。

下のような画面が表示された場合は[Yes]をクリックして続行します。



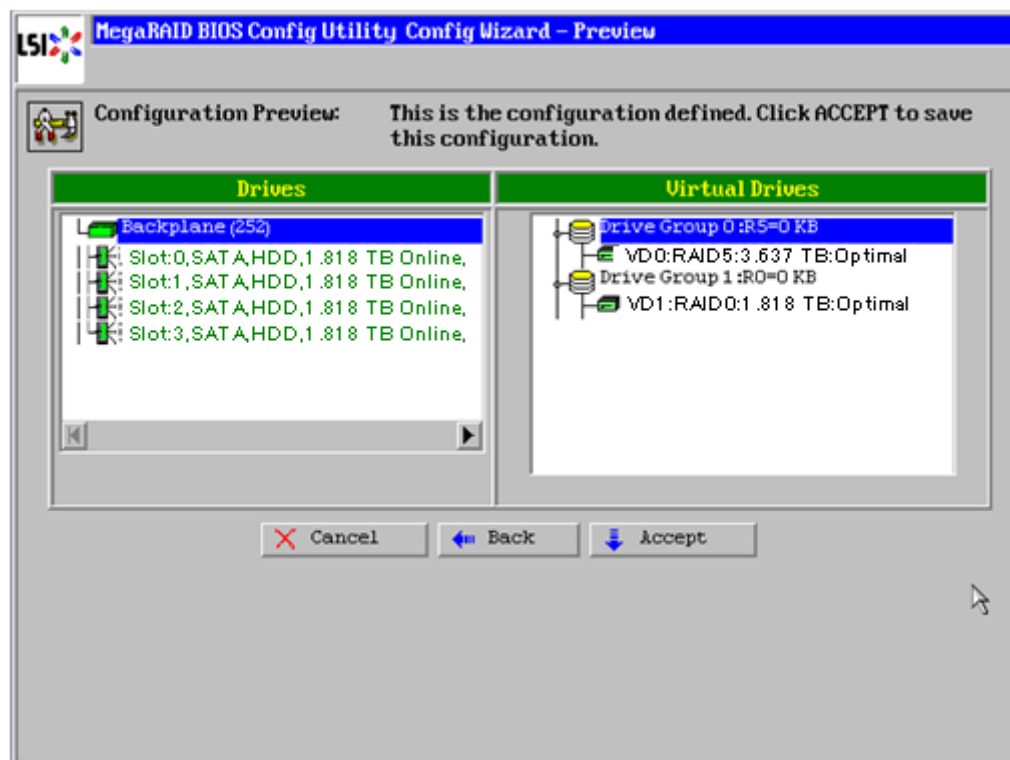
⑧残りの Drive Group 設定の為、「Virtual Drive Definition」画面の「Back」をクリックして「Span Definition」画面を表示します。

⑨Drive Group:1 を選択し、④～⑦を繰り返します。

「Virtual Drive Definition」画面で[RAID Level]がRAID0、[Select Size]が右の緑の文字で[R0]と書かれている箇所の数値になっているのを確認します。(ご使用の環境によってこの数値は例とは異なります。)

⑩「Next」をクリックします。「Preview」画面が表示されます。

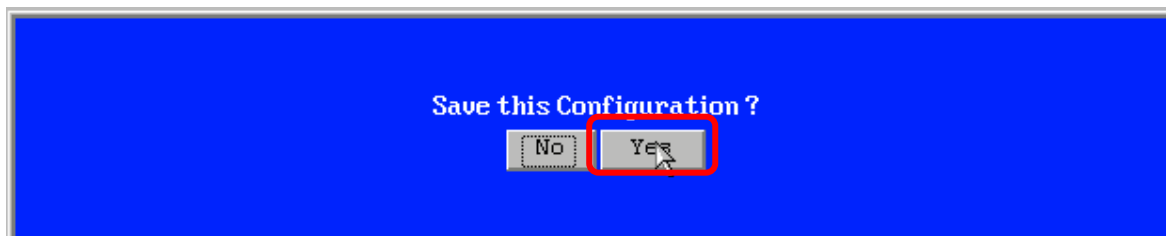
下のような表示になっているのを確認します。



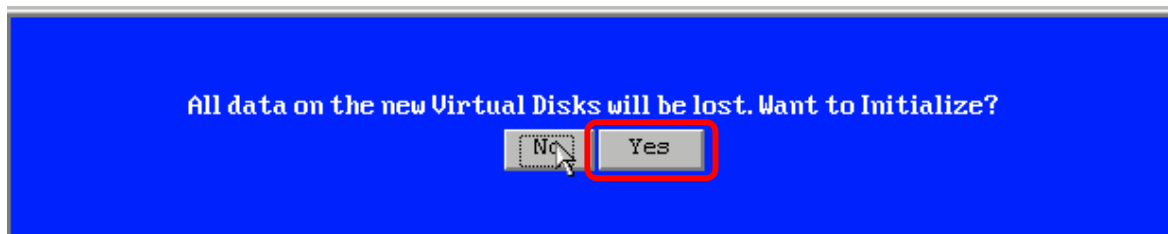
⑪「Accept」をクリックします。

「Save this Configuration?」とメッセージが表示されます。

「Yes」をクリックします。

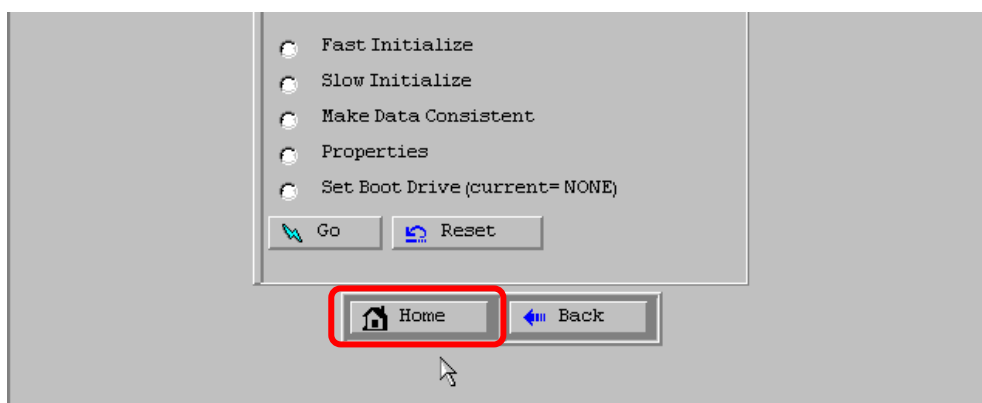


⑫下のように表示されたら、「Yes」をクリックします。



2.3 WebBIOS の終了

[Home]をクリックしメインメニューに戻り、「Exit」をクリックします。

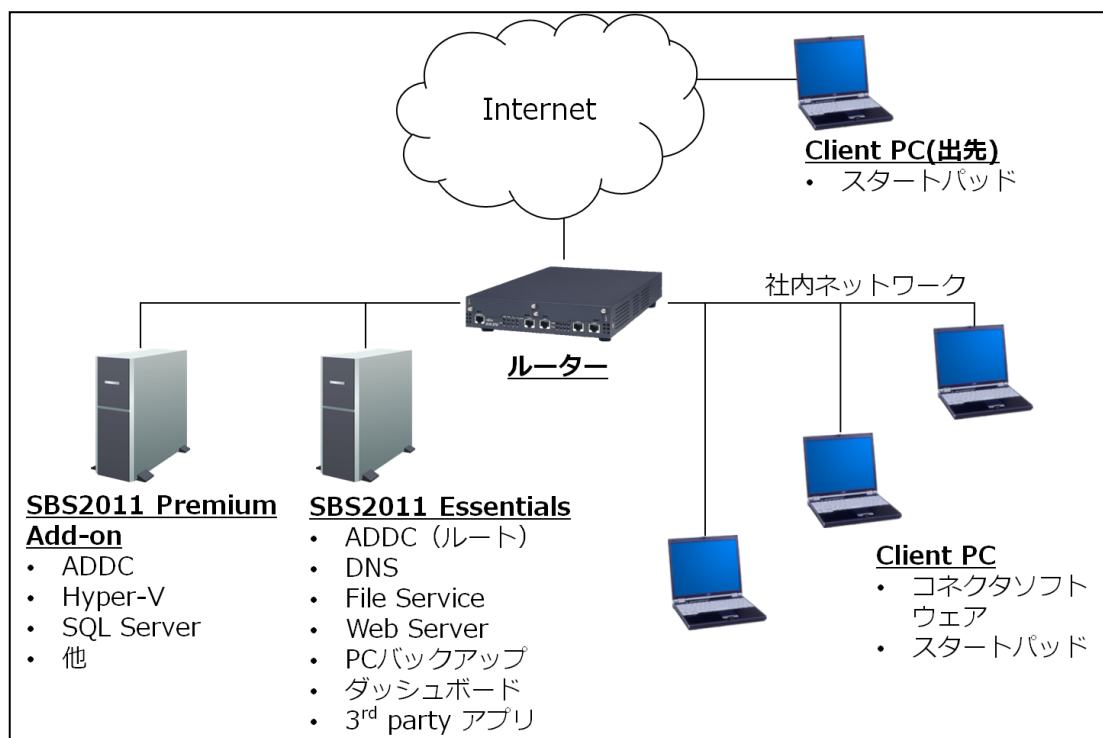


「Exit Application」と表示されたら、「Yes」を選択します。

WebBIOS が終了します。

「Please Reboot your System」と表示されたら、[ServerView Suite DVD 1]を挿入し、
【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押してサーバ本体を再起動します。

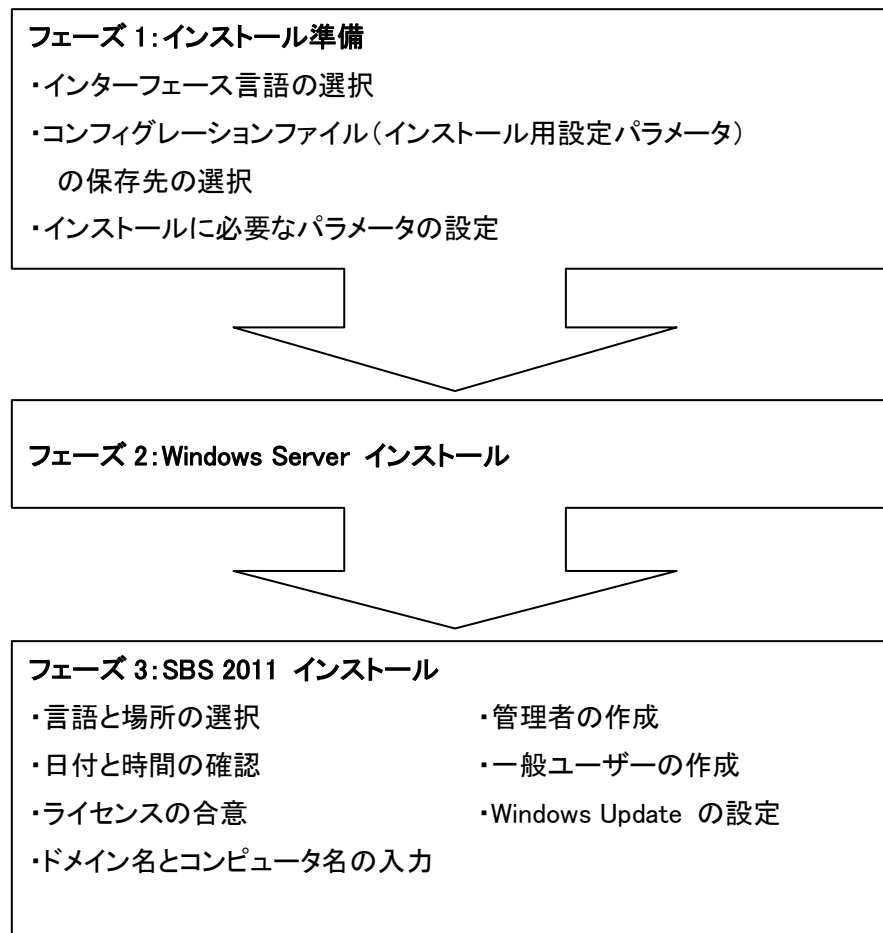
3 SBS2011 Essentials をインストールする



SBS サーバーのインストールの準備

購入された PRIMERGY サーバーをブロードバンドルーターまたはスイッチに有線で接続します。この時、ブロードバンドルーターまたはスイッチの電源は ON となっている必要があります。

[ServerView Suite DVD 1]を DVD ドライブに挿入してサーバーを起動し、インストールを開始します。SBS 2011 Essentials のインストールには、「インストール準備」、「Windows Server インストール」、「SBS 2011 インストール」の 3 つのフェーズがあります。各フェーズでは、ウィザードによるいくつかの質問に答える必要があります。



ワンポイント

SBS 2011 Essentials をインストールするサーバーからは、あらかじめ USB や IEEE1394 など接続された外部ハードドライブを取り外しておいてください。これらのハードドライブは、SBS 2011 Essentials のインストール後に再度、接続します。

ステップバイステップ

SBS 2011 Essentials をインストールする

3.1 インストール準備

(1) コンフィグレーションファイル(インストール用設定パラメータファイル)をバックアップ保存するために、フロッピーディスク/USB メモリ、またはネットワークドライブを指定する必要があります。

以降、例として USB メモリを使用する場合を説明します。

【MX130S1、TX100S2 の場合】

- ① USB メモリをサーバーの USB ポートへ接続して、サーバーの電源を入れます。
- ② 画面下に『Press <F2> to enter SETUP』が表示されたら[F2]ボタンを押してください。
「System Console」画面が表示されます。
- ③ [→]ボタンを押して「Boot」メニューを選択します。
- ④ [↓]ボタンを押して「USB *****」を選択します。
(※ 「*****」は使用する USB メモリにより異なります。)
- ⑤ [x]ボタンを押して、ブート順位から除外します。
(※ 選択した「USB *****」が画面下の「Excluded from boot order」に移動したことを確認してください。)
- ⑥ [→]ボタンを押して「Exit」メニューを選択します。
- ⑦ 「Save Changes & Exit」を選択し、[Enter]ボタンを押します。
「Setup Confirmation」画面が表示されます
- ⑧ [ServerView Suite DVD 1]を DVD ドライブに挿入してください。
- ⑨ 「Setup Confirmation」画面で「Yes」を選択して[Enter]ボタンを押します。
- ⑩ システムが再起動します。

【MX130S2、TX100S3 の場合】

- ① USB メモリをサーバーの USB ポートへ接続して、サーバーの電源を入れます。
- ② 画面下に『Press <F2> to enter SETUP』が表示されたら[F2]ボタンを押してください。
- ③ [→]ボタンを押して「Boot」メニューを選択します。
- ④ 「Boot Option Priorities」で、「USB *****」が一番下にある事を確認します。
(※ 「*****」は使用する USB メモリにより異なります。)
「USB *****」が一番下ではない場合
(ア) [↓]ボタンを押して「USB *****」を選択します。
(イ) [–]ボタンを押して「USB *****」を一番下へ移動します。
- ⑤ [→]ボタンを押して「Save & Exit」メニューを選択します。
- ⑥ 「Save Changes and Exit」を選択し、[Enter]ボタンを押します。
「Save & Exit Setup」画面が表示されます
- ⑦ [ServerView Suite DVD 1]を DVD ドライブに挿入してください。
- ⑧ 「Save & Exit Setup」画面で「Yes」を選択して[Enter]ボタンを押します。
- ⑨ システムが再起動します。

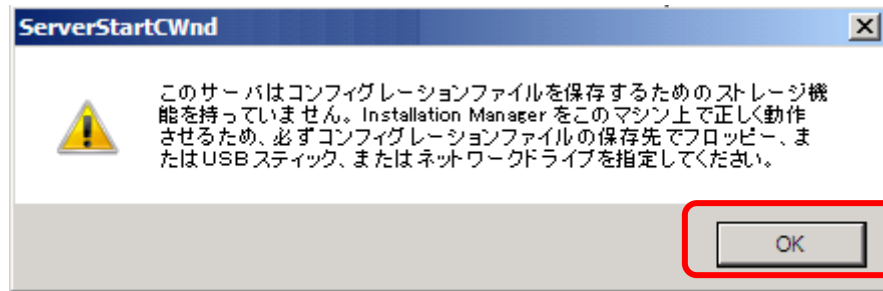
(2)「Language Selection」画面が表示されます。

[Japanese]を選択します。



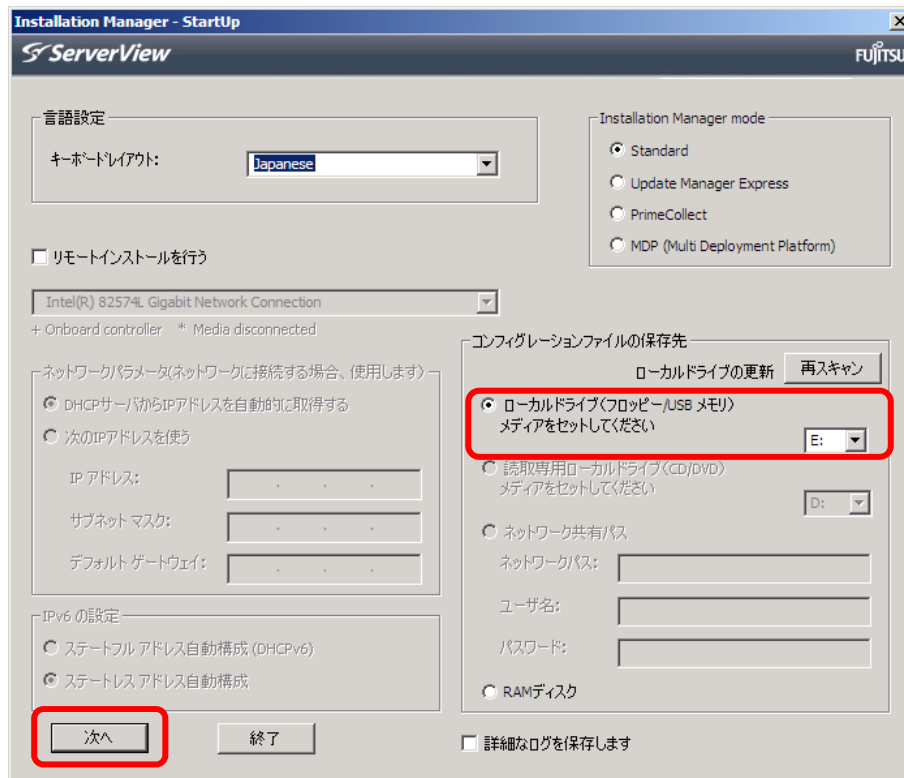
(3)「ServerStartCWnd」画面が表示されます。

[OK]をクリックします



(4) 設定画面が表示されます。

コンフィグレーションファイルの保存先で[ローカルドライブ(フロッピー／USB メモリ)メディアをセットしてください]を選択後、有効になっている USB メモリのドライブを選択し、[次へ]をクリックします。



(5) 以下の画面が表示される場合があります。

表示された場合は[再読み込み]をクリックします。



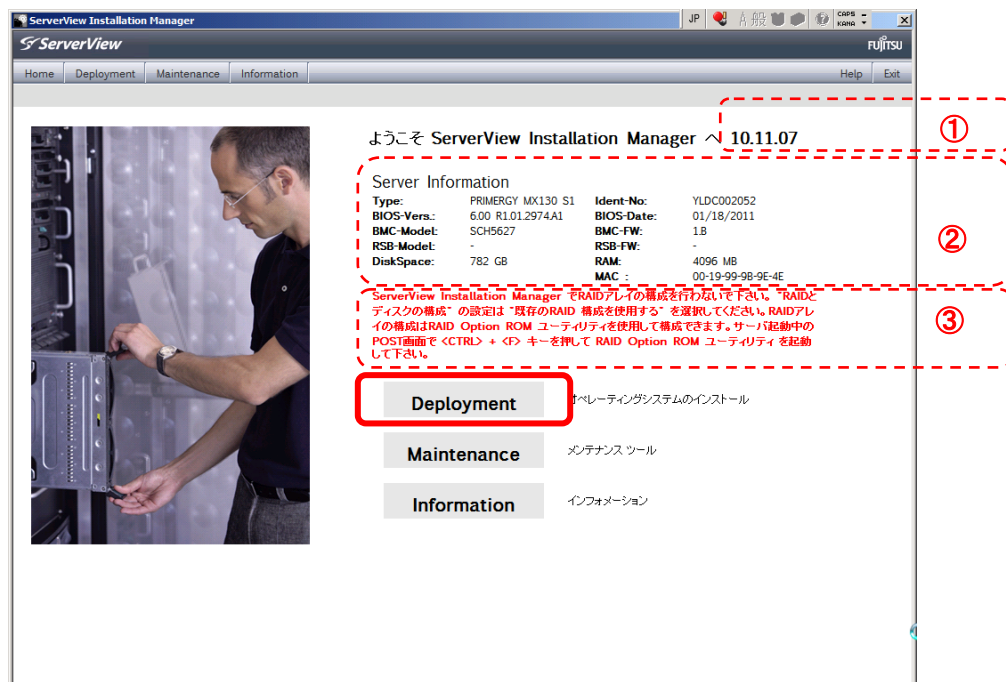
(6)「ようこそ ServerView Installation Manager」画面が表示されるので、[Deployment]を選択します。

※ 点線①の内容は、[ServerView Suite DVD 1]のバージョンにより異なります。

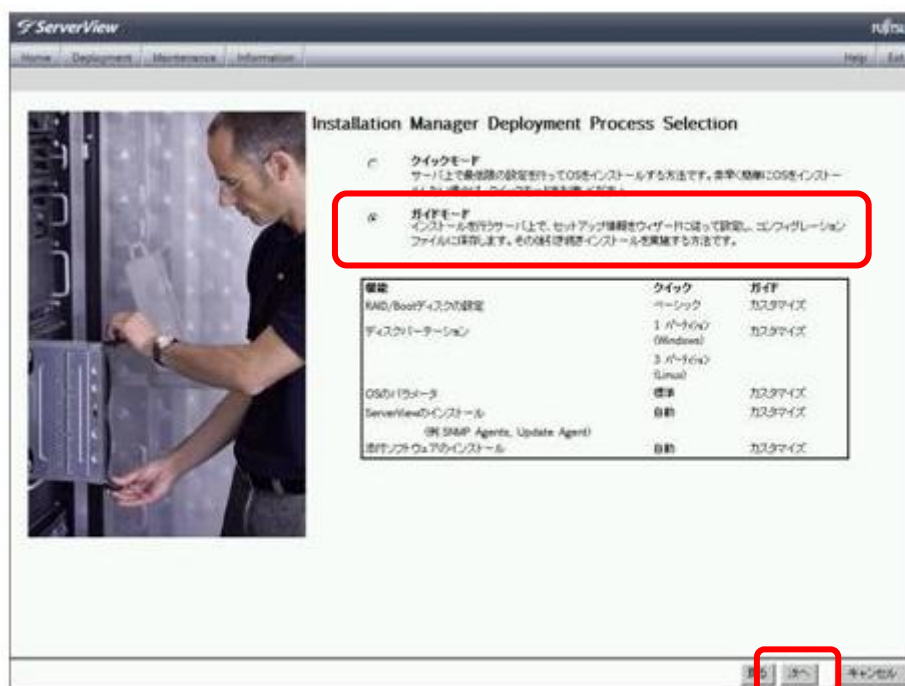
※ 点線②の内容は、サーバーの機種により異なります。

※ 点線③の内容は、PRIMERGY MX130 S1ではRAIDの構成はしないため、無視して問題ありません。

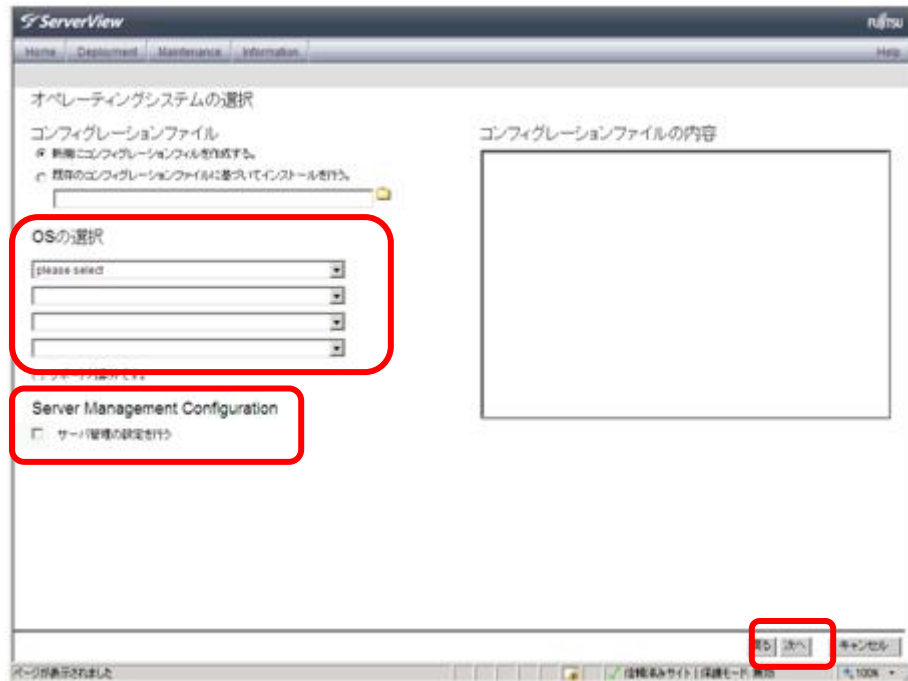
ServerView Installation Manager でRAIDアレイの構成を行わないで下さい。"RAIDとディスクの構成"の設定は"既存のRAID 構成を使用する"を選択してください。RAIDアレイの構成はRAID Option ROM ユーティリティを使用して構成できます。サーバ起動中のPOST画面で<CTRL> + <F> キーを押して RAID Option ROM ユーティリティ を起動して下さい。



(7)「Installation Manager Deployment Process Selection」画面が表示されるので、[ガイドモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



(8)「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されるので、「OSの選択」を上段から順に[Windows]・[Ms Windows Small Business Server]・[Windows SBS 2011 Essentials]・[---]を選択後、「Server Management Configuration」の[サーバ管理の設定を行う]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。



※ [サーバ管理の設定を行う]のチェックを付けると以下の設定を行う画面が表示されますので、必要に応じて設定してください。

- ・サーバ設定(サーバタイプ選択)
- ・電源投入／切断時刻設定
- ・UPS 設定
- ・再起動設定

上記はインストール完了後にも設定することが出来ます。


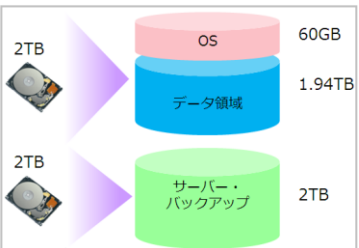
設定方法は「ServerView Installation Manager - 取扱説明書」を参照してください。

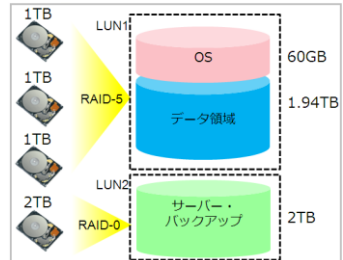
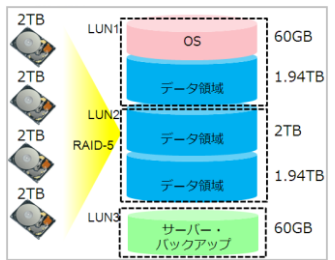
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note/svsdvd/>

(9)「RAID と ディスクの構成」画面が表示されます。

※ 表示されるディスク種類、サイズはご使用の環境によって違います。

推奨構成毎に手順を確認してください。

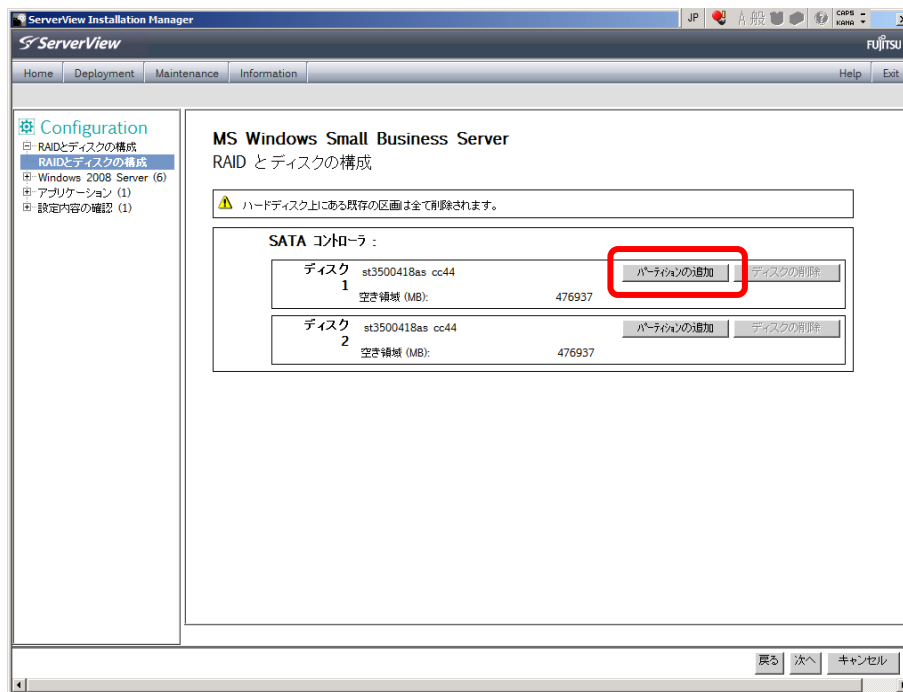
MX130S1	MX130S2
	
「(9-1)MX130S1」へ進む	「(9-2)MX130S2、TX100S2/S3 (推奨構成-1)」へ進む

TX100S2/S3(推奨構成-1)	TX100S2/S3(推奨構成-2)
	
「(9-2)MX130S2、TX100S2/S3 (推奨構成-1)」へ進む	「(9-3)TX100S2/S3(推奨構成-2)」へ進む

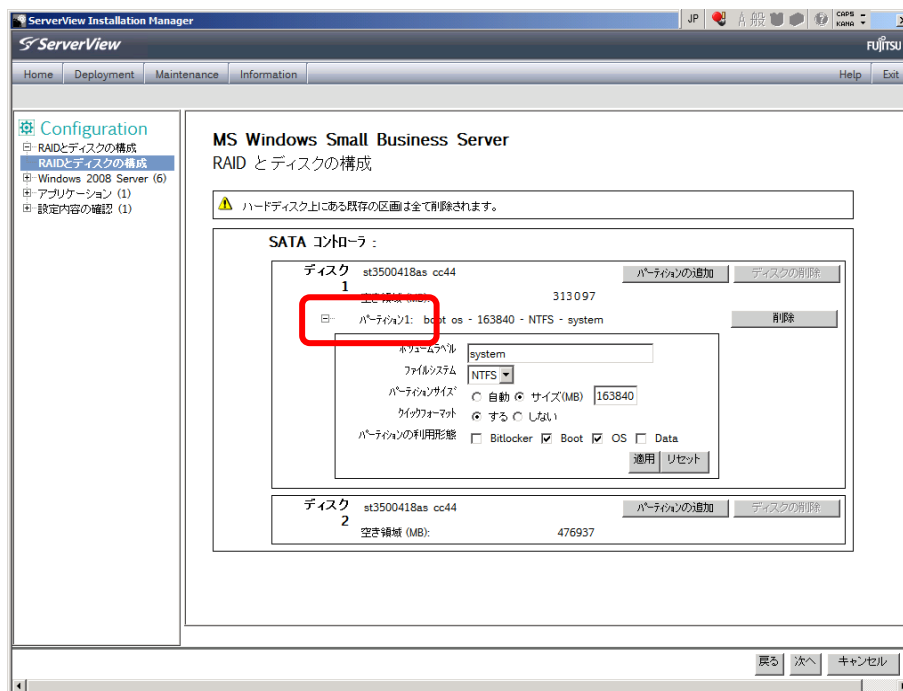
(9-1)「MX130S1」

①OS領域を設定

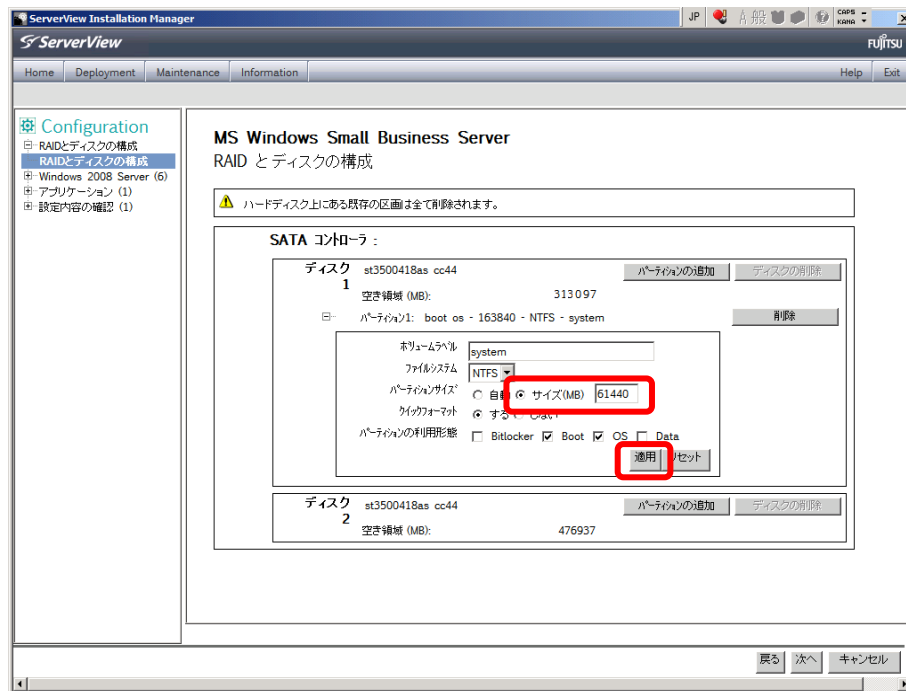
「ディスク1」の[パーティションの追加]をクリックします。



「パーティション1」が作成されることを確認し、「パーティション1」左にある「+」をクリックして内容を展開します。

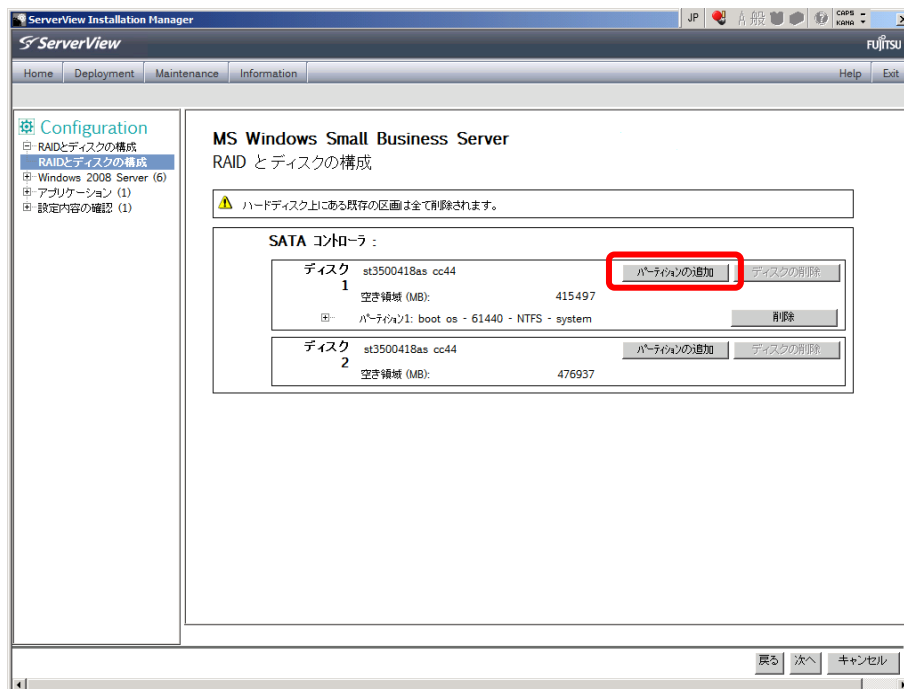


「パーティションサイズ」で[サイズ]を選択し、推奨環境である 60GB『61440』を入力し、[適用]をクリックします。

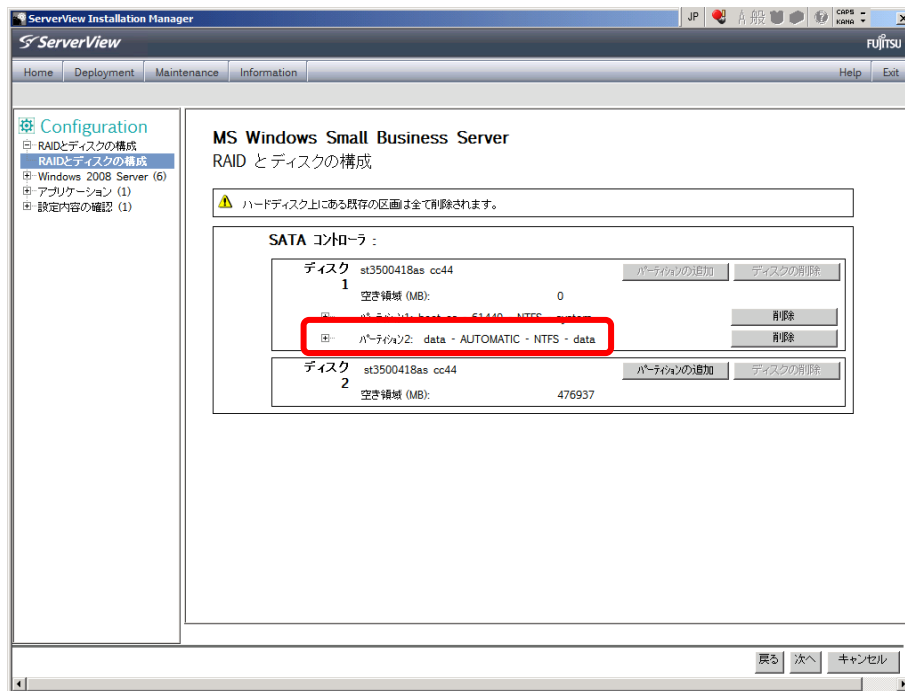


②データ領域を設定

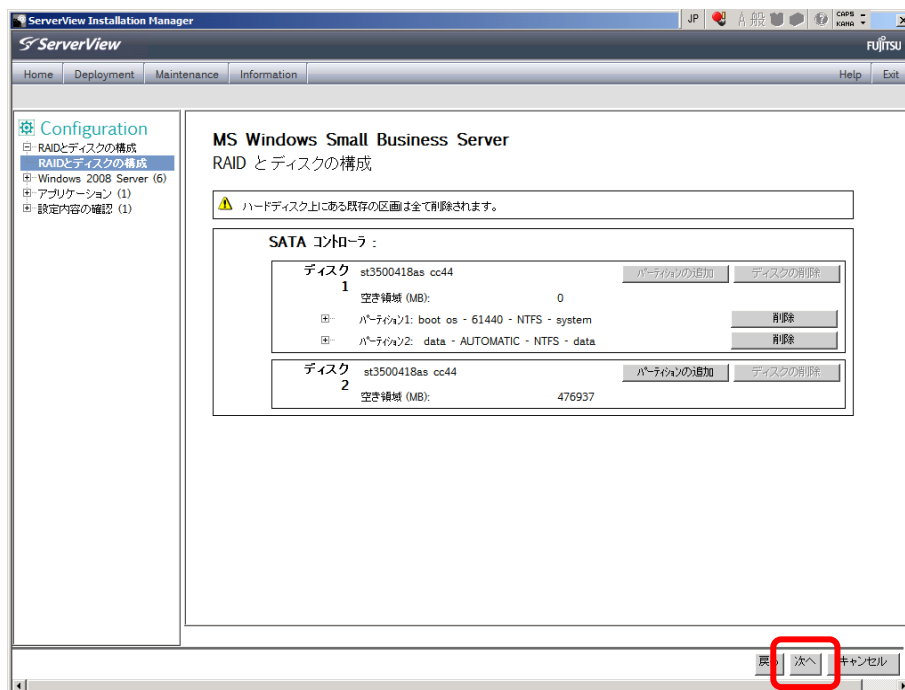
「ディスク1」の[パーティションの追加]をクリックします。



「パーティション2」が作成されることを確認します。この時、「パーティションサイズ」は[自動]となり、ディスク1の残りの領域全てが「パーティション2」に割り当てられます。



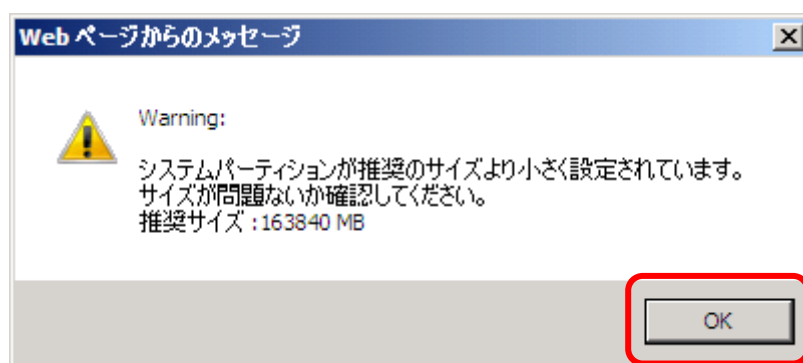
③[次へ]をクリックします。



④ システムパーティションサイズ確認。

「Webページからのメッセージ」画面が表示されます。

[OK]をクリックします。



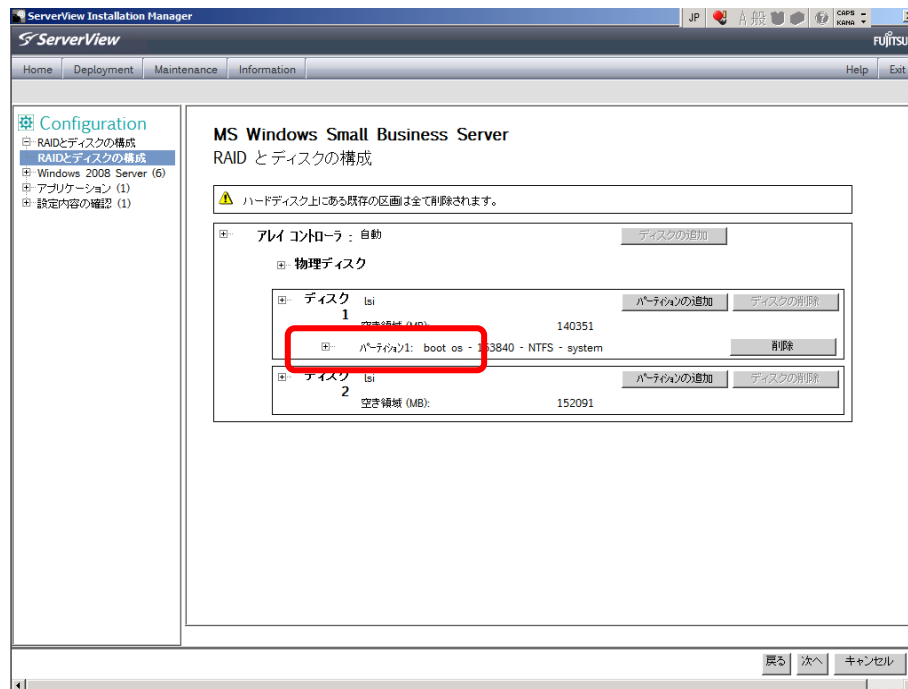
※ システムパーティションのサイズにSVIMでの推奨サイズより小さいサイズを設定したことで、このメッセージが表示されていますが、ディスク1の容量が160GB以上であれば問題ありません。

⑤ 手順(10)へ進みます。

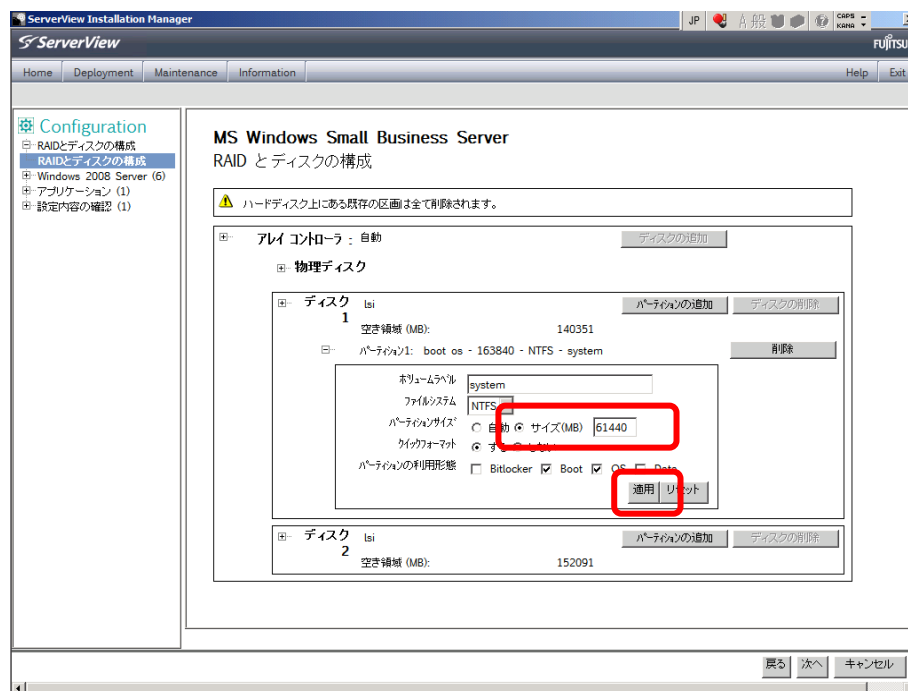
(9-2) MX130S2、TX100S2/S3(推奨構成-1)

① OS 領域を設定

「パーティション1」左にある「+」をクリックして内容を展開します。

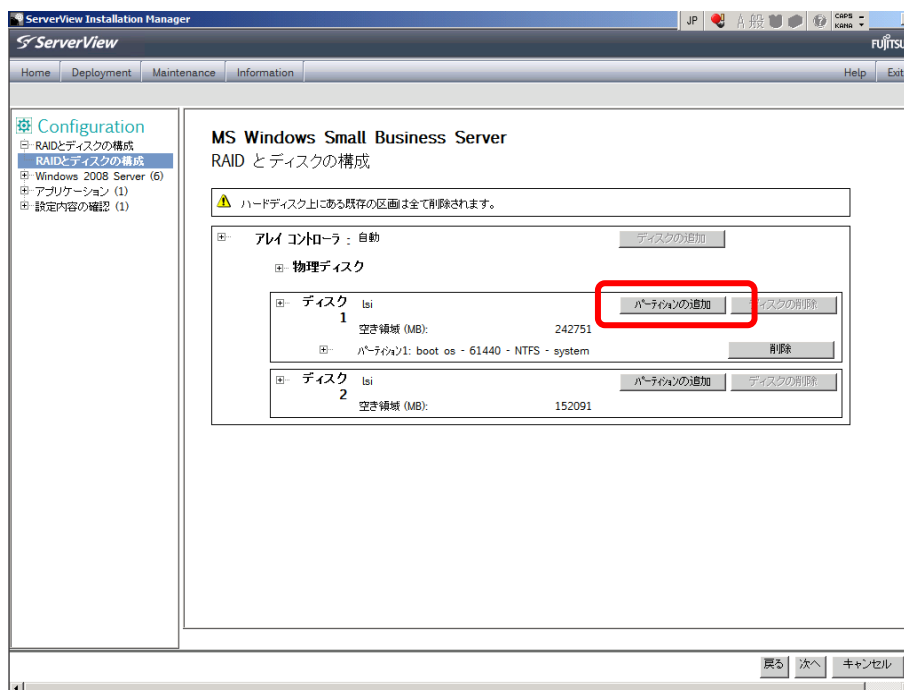


「パーティションサイズ」で[サイズ]を選択し、推奨環境である 60GB『61440』を入力し、[適用]をクリックします。

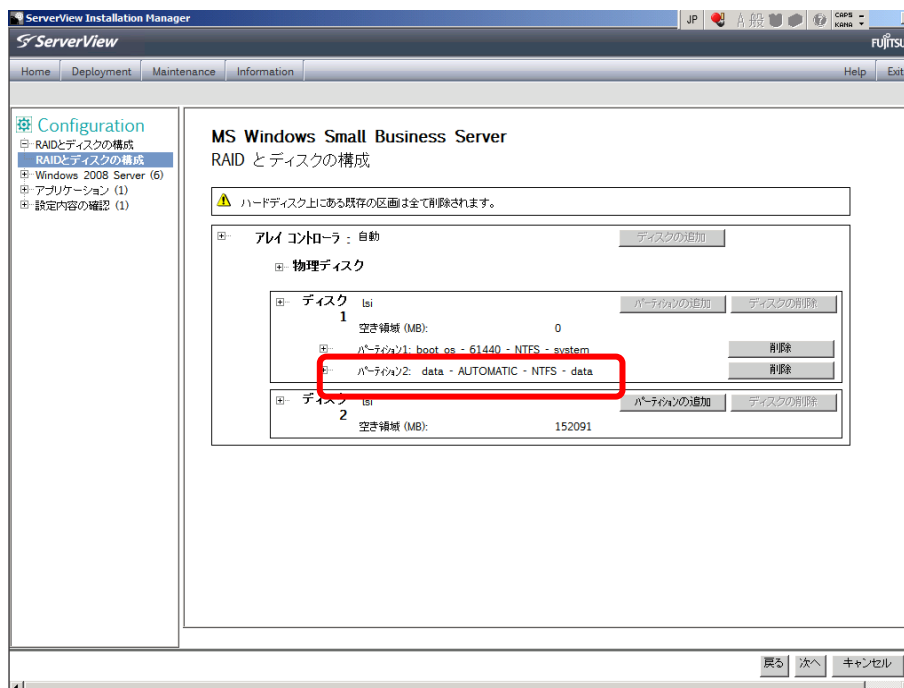


②データ領域を設定

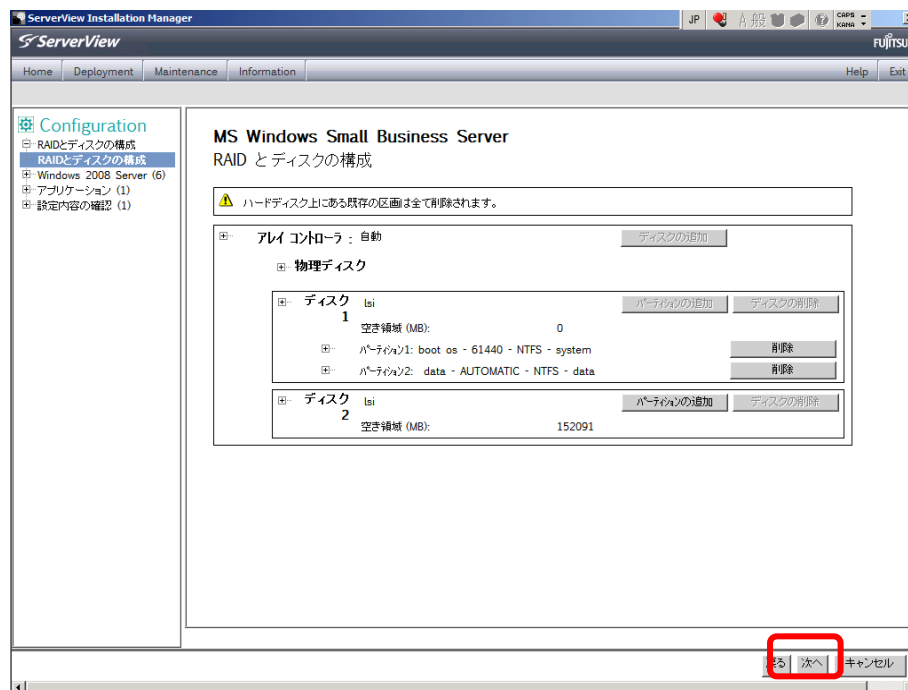
「ディスク1」の[パーティションの追加]をクリックします。



「パーティション2」が作成されることを確認します。この時、「パーティションサイズ」は[自動]となり、ディスク1の残りの領域全てが「パーティション2」に割り当てられます。



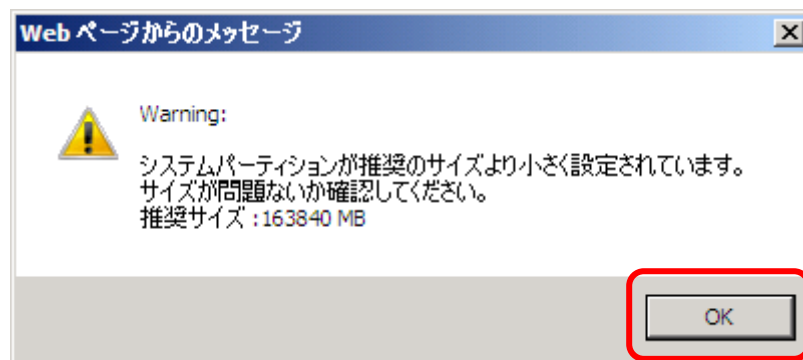
③[次へ]をクリックします。



④システムパーティションサイズ確認。

「Webページからのメッセージ」画面が表示されます。

[OK]をクリックします。



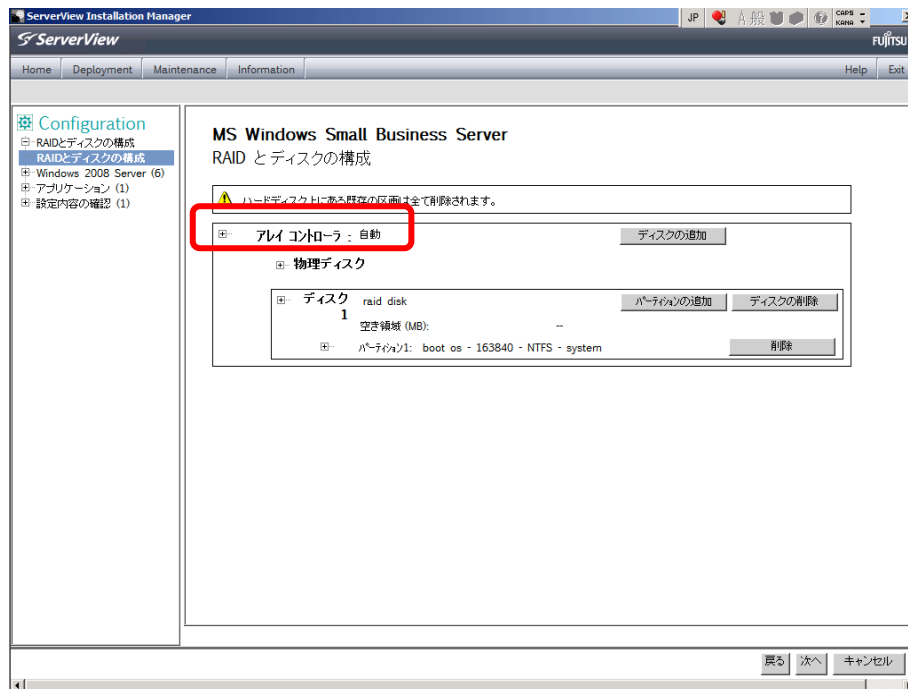
※ システムパーティションのサイズにSVIMでの推奨サイズより小さいサイズを設定したことで、このメッセージが表示されていますが、ディスク1の容量が160GB以上であれば問題ありません。

⑤手順(10)へ進みます。

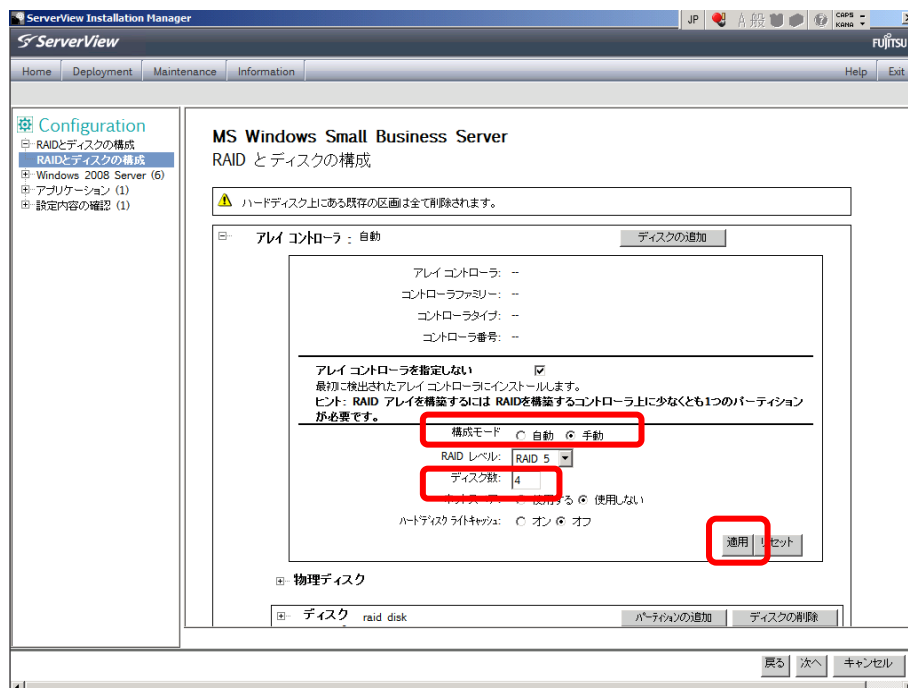
(9-3) TX100S2 (推奨構成-2)

①アレイコントローラを設定

「アレイコントローラ」左にある「+」をクリックして内容を展開します。

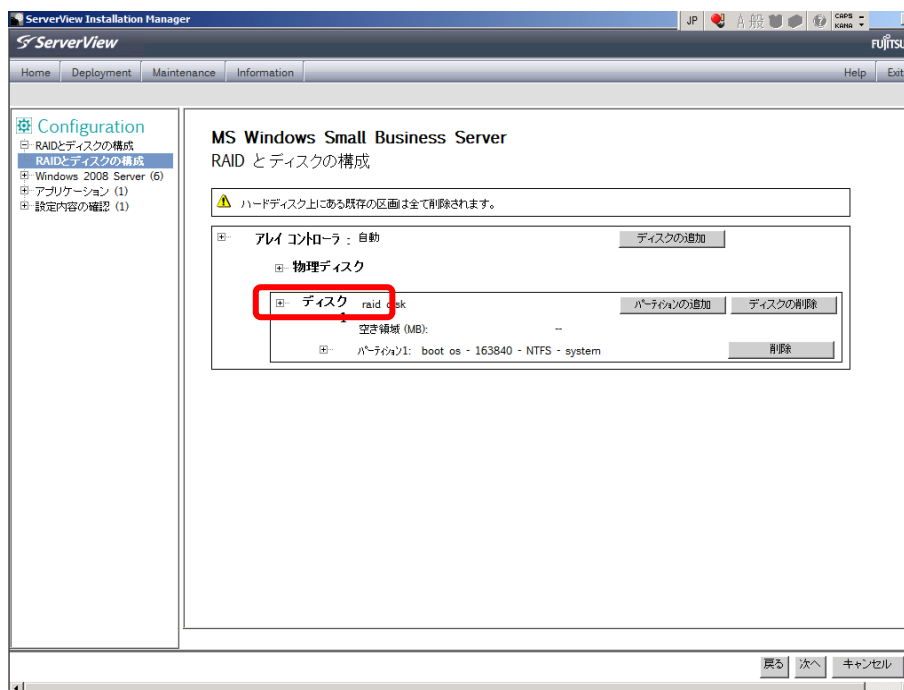


「構成モード」で[手動]を選択し、「ディスク数」で『4』を入力し、[適用]をクリックします。

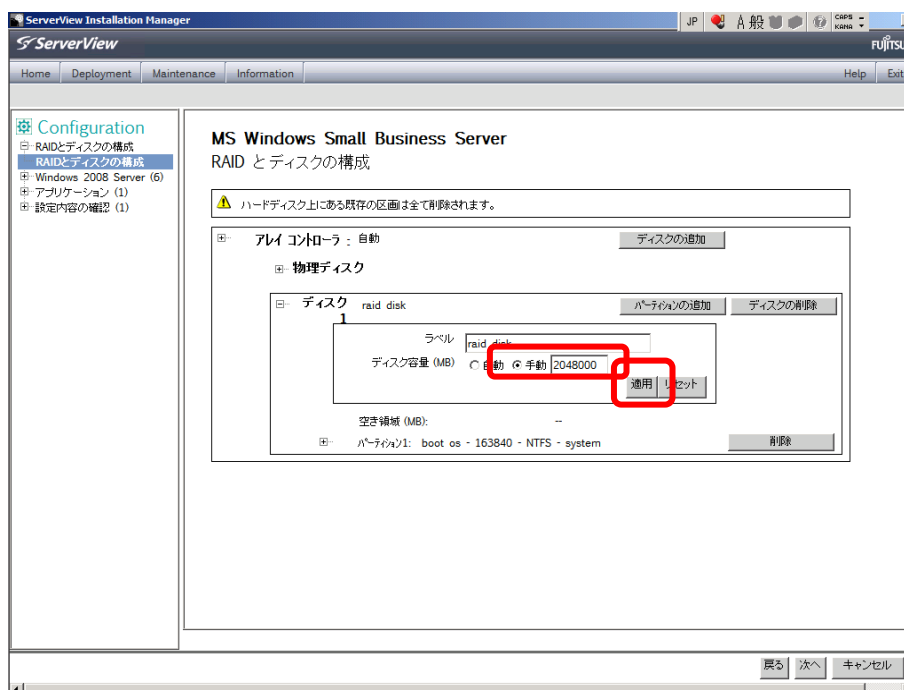


②OS 領域を設定

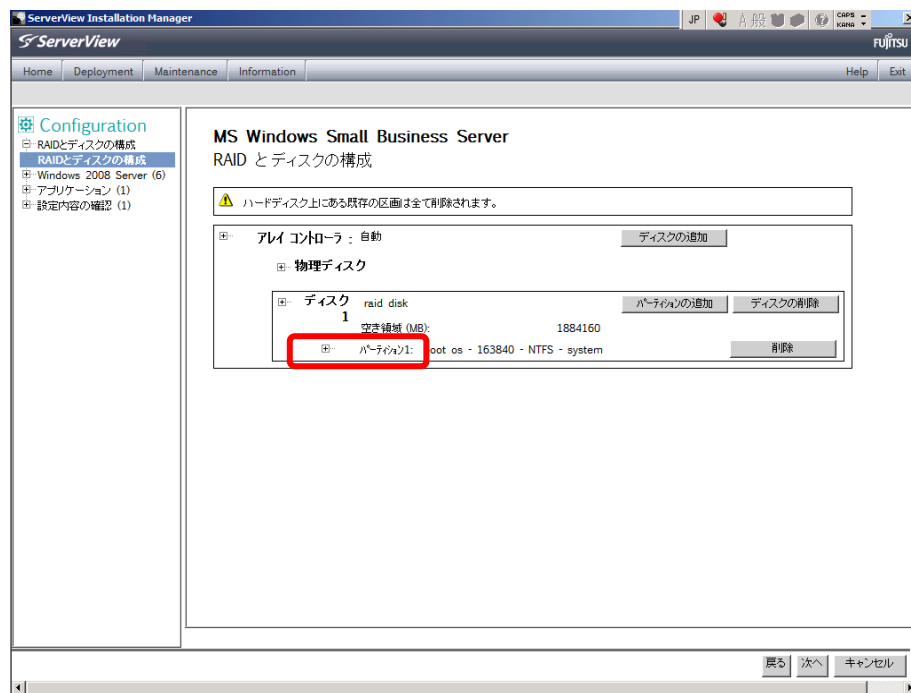
「ディスク」左にある「+」をクリックして内容を展開します。



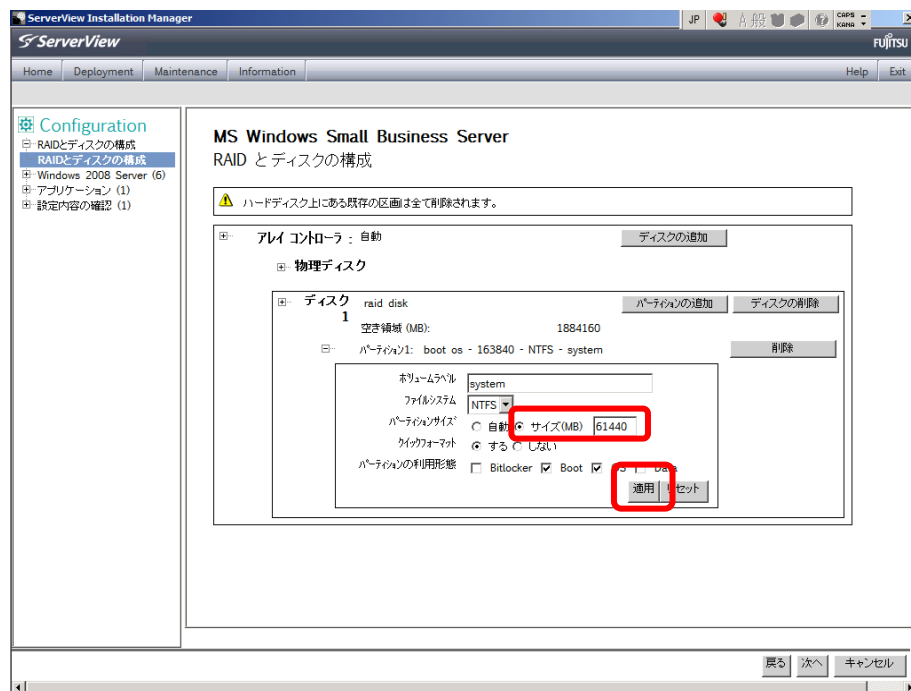
「ディスク容量」で[手動]を選択し、推奨環境である 2TB『2048000』を入力し、[適用]をクリックします。



「パーティション1」左にある「+」をクリックして内容を展開します。

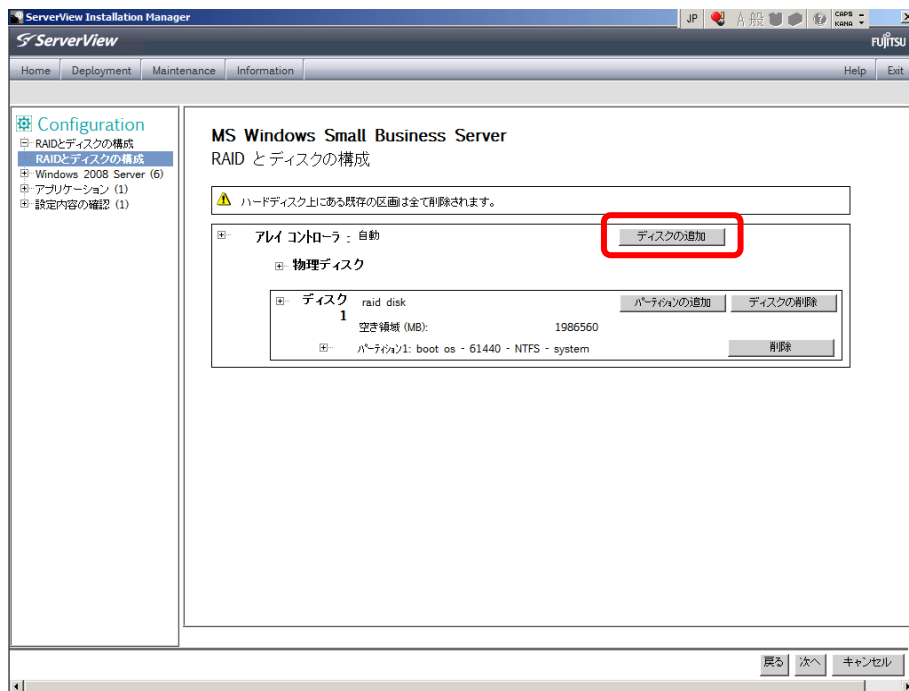


「パーティションサイズ」で[サイズ]を選択し、推奨環境である 60GB『61440』を入力し、[適用]をクリックします。



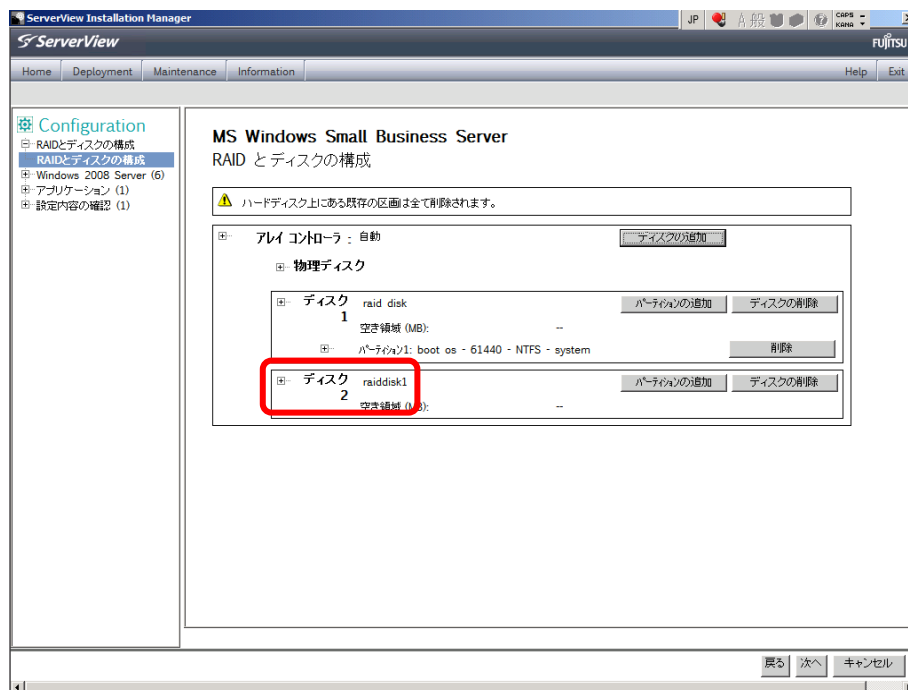
③サーバー・バックアップ領域を設定

「アレイコントローラ」の[ディスクの追加]をクリックします。

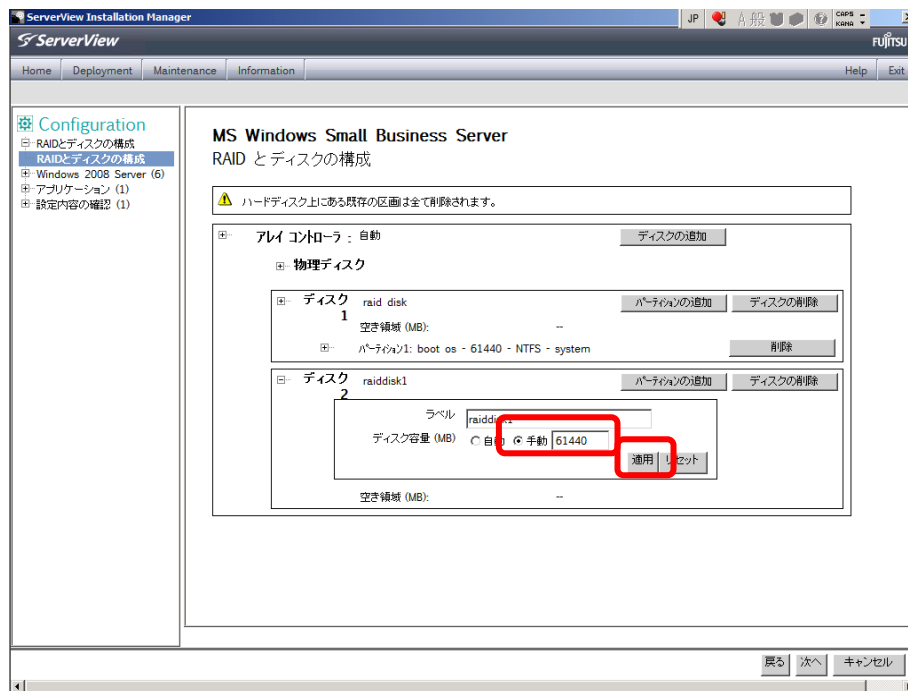


「ディスク2」が作成されることを確認します。

「ディスク」左にある「+」をクリックして内容を展開します。

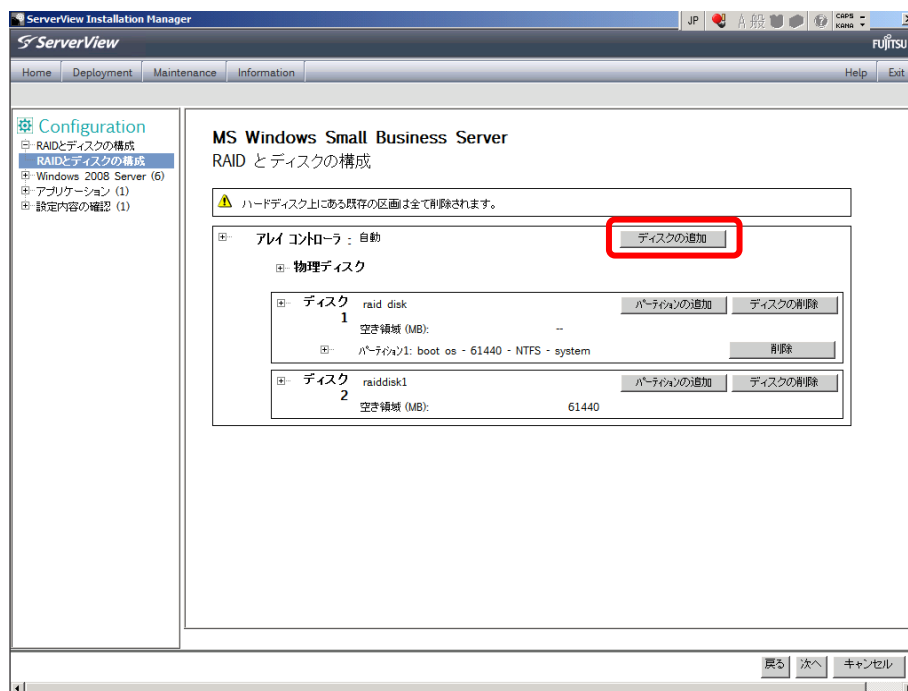


「ディスク容量」で[手動]を選択し、推奨環境である 60GB『61440』を入力し、[適用]をクリックします。

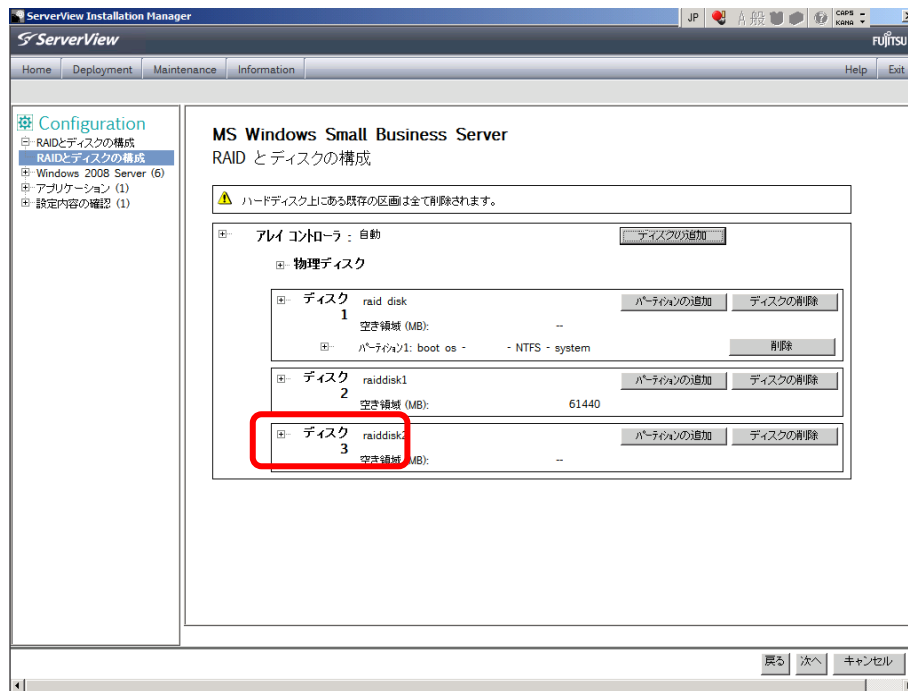


④データ領域を設定

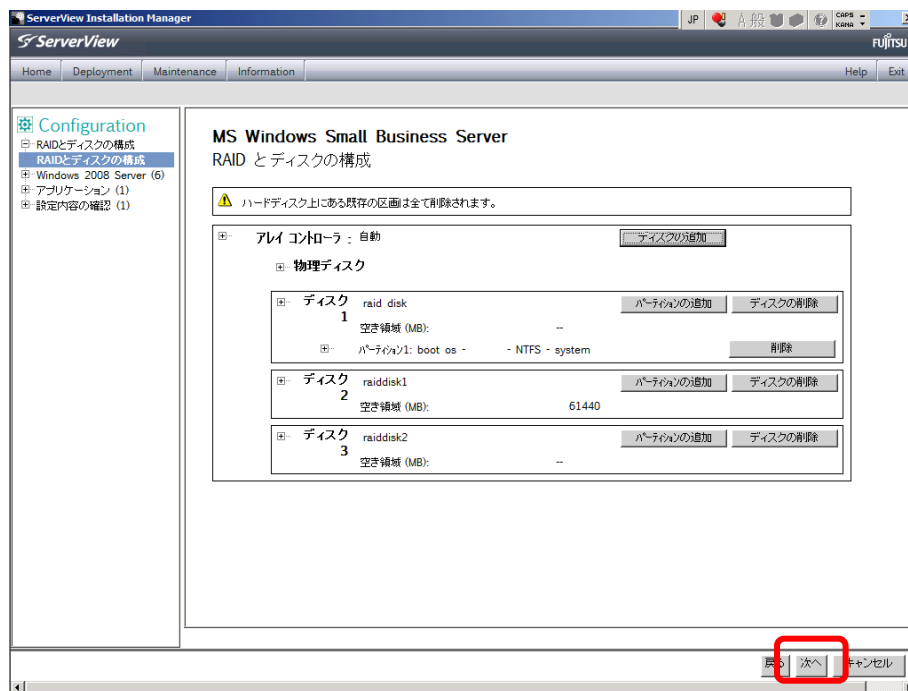
「アレイコントローラ」の[ディスクの追加]をクリックします。



「ディスク3」が作成されることを確認します。



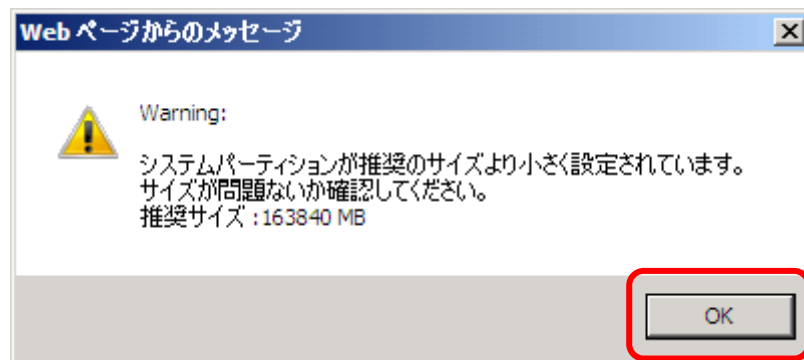
⑤[次へ]をクリックします。



⑥ システムパーティションサイズ確認

「Webページからのメッセージ」画面が表示されます。

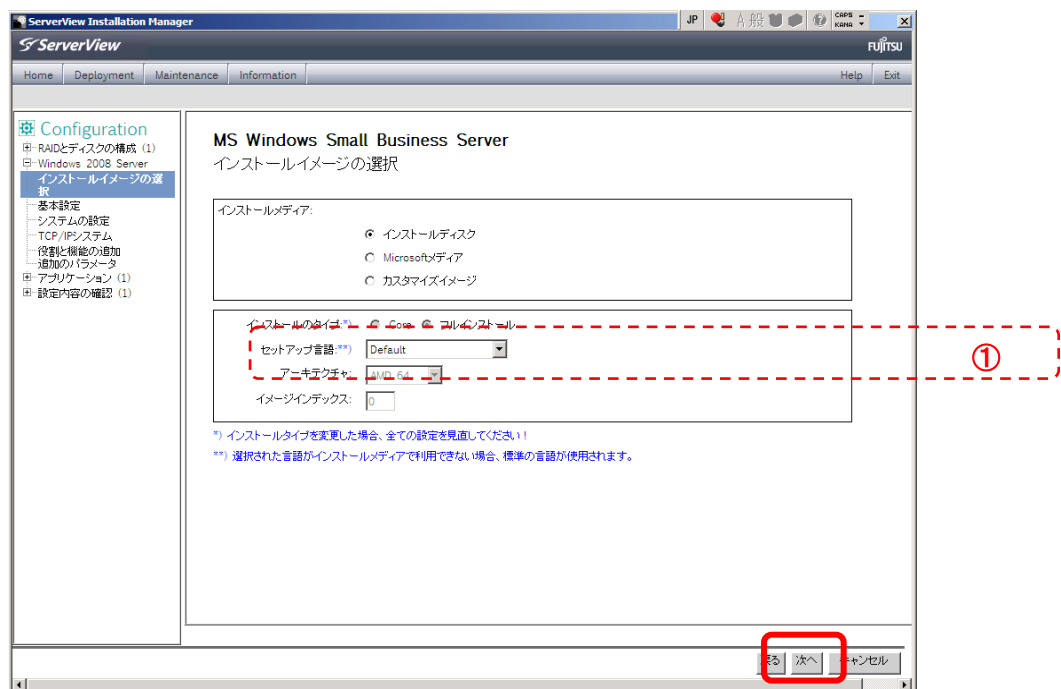
[OK]をクリックします。



※ システムパーティションのサイズにSVIMでの推奨サイズより小さいサイズを設定したことで、このメッセージが表示されていますが、ディスク1の容量が160GB以上であれば問題ありません。

(10) 「インストールイメージの選択」画面が表示されるので、内容を確認し[次へ]をクリックします。

※ 点線①の「セットアップ言語」は[Default]から変えないで下さい。



(11)「基本設定」画面が表示されるので、「名前」・「組織名」・「コンピュータ名」・「Administratorパスワード」・「パスワードの確認入力」をそれぞれ入力後、「タイムゾーン」で[Tokyo Standard Time: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo]を選択し[次へ]をクリックします。

※ 点線①の「形式、言語」は[English]が固定で選択されていますが問題ありません。

ServerView Installation Manager

MS Windows Small Business Server

基本設定

名前: 組織名:

コンピュータ名:

プロダクトキー:

Administratorパスワード: パスワードの確認入力:

タイムゾーン:

形式、言語: ①

キーボード:

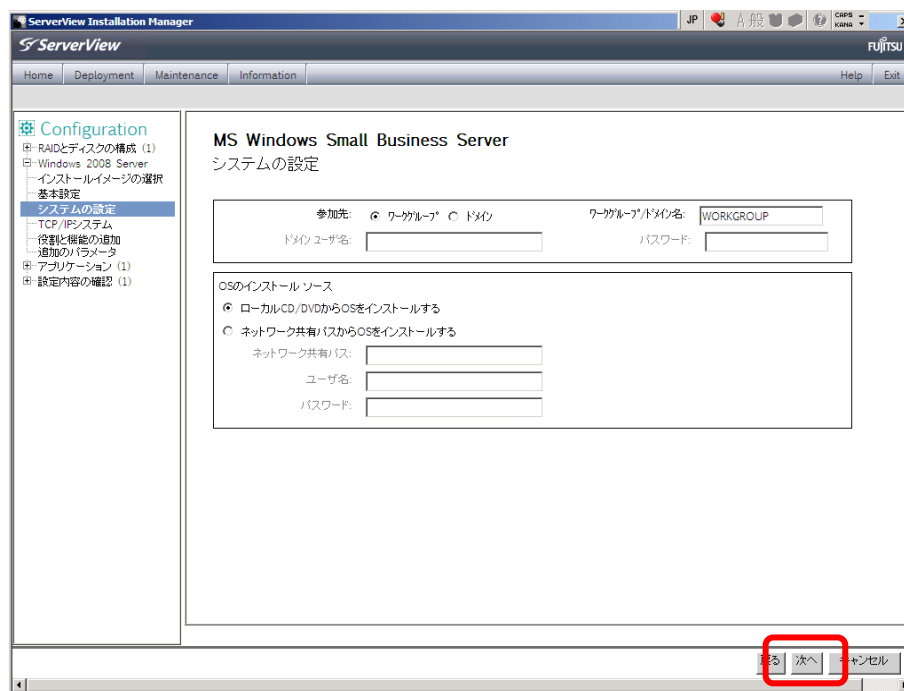
注意!! OSインストールタイプ/ハードウェアに添付の「インストールディスク」を使用する場合、プロダクトキーは入力しないでください。

戻る 次へ キャンセル

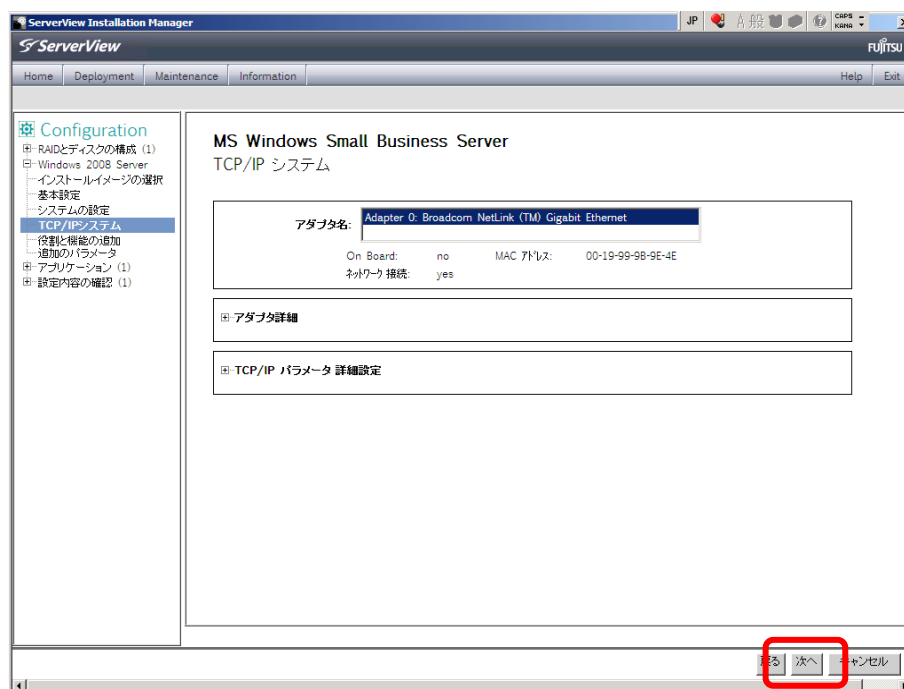
※ ここで設定するユーザー「Administrator」は、インストール時にのみ使用するユーザーであり、インストール完了時に無効化されます。
以降「ビルトイン Administrator」と呼びます。

(12)「システムの設定」画面が表示されるので、内容を確認し[次へ]をクリックします。

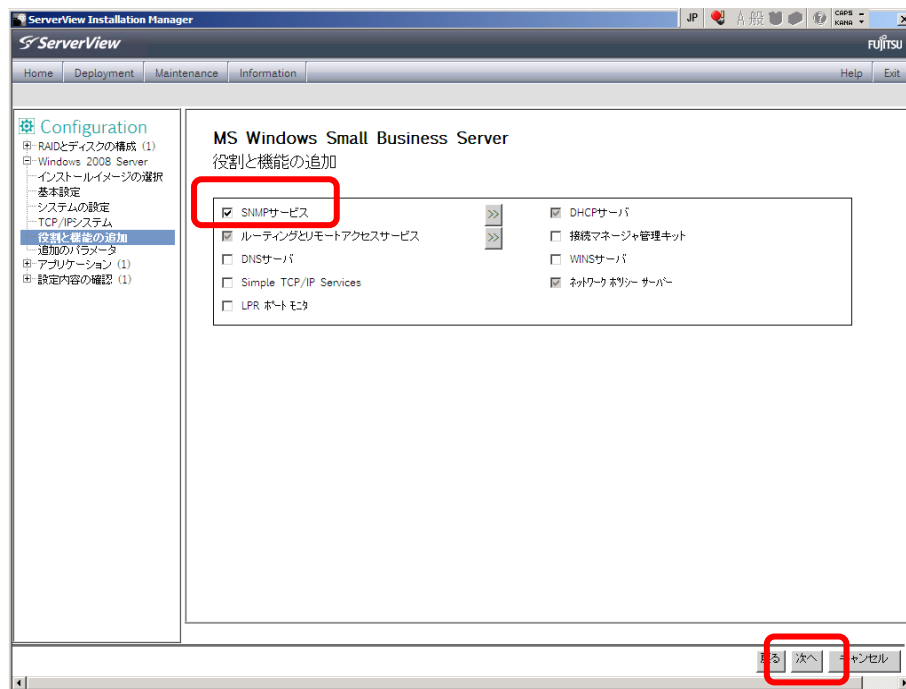
※ この画面で入力したワークグループ/ドメイン名はインストール時にのみ利用されます。



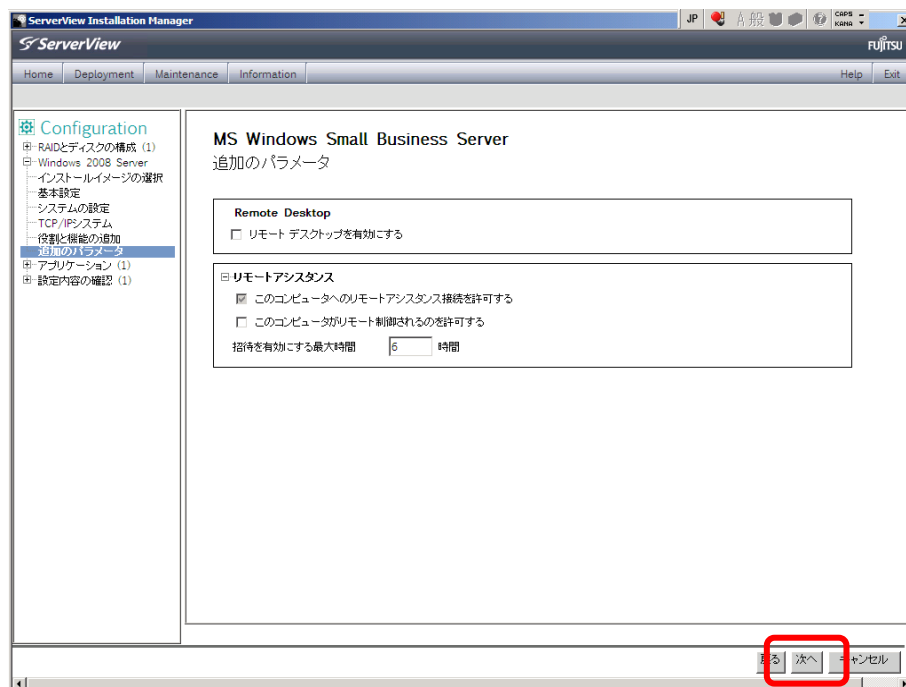
(13)「TCP/IP システム」画面が表示されるので、内容を確認し[次へ]をクリックします。



(14)「役割と機能の追加」画面が表示されるので、[SNMPサービス]にチェックが入っていることを確認し[次へ]をクリックします。

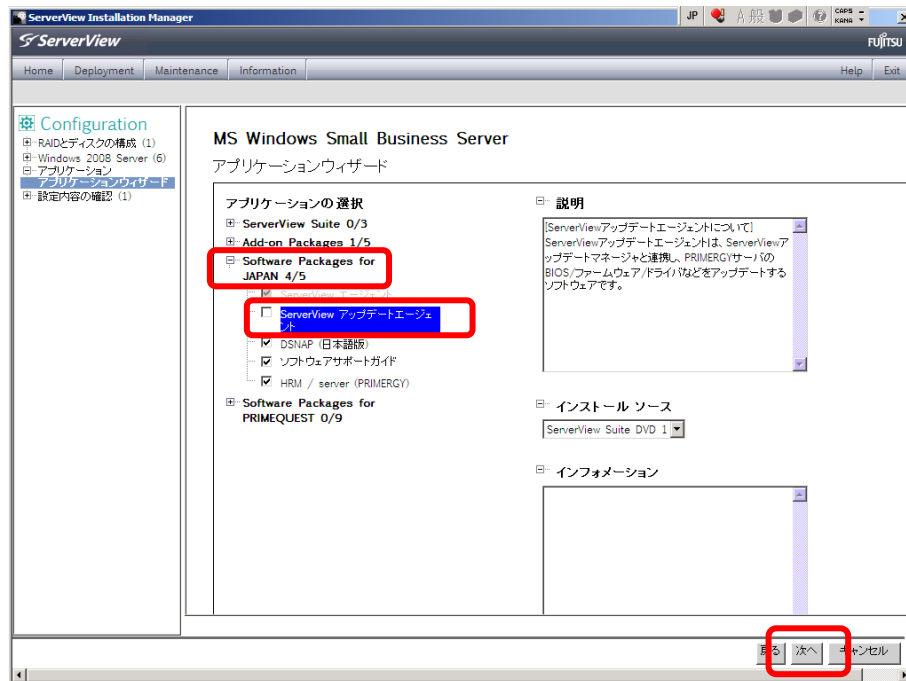


(15)「追加のパラメータ」画面が表示されるので、内容を確認し[次へ]をクリックします。



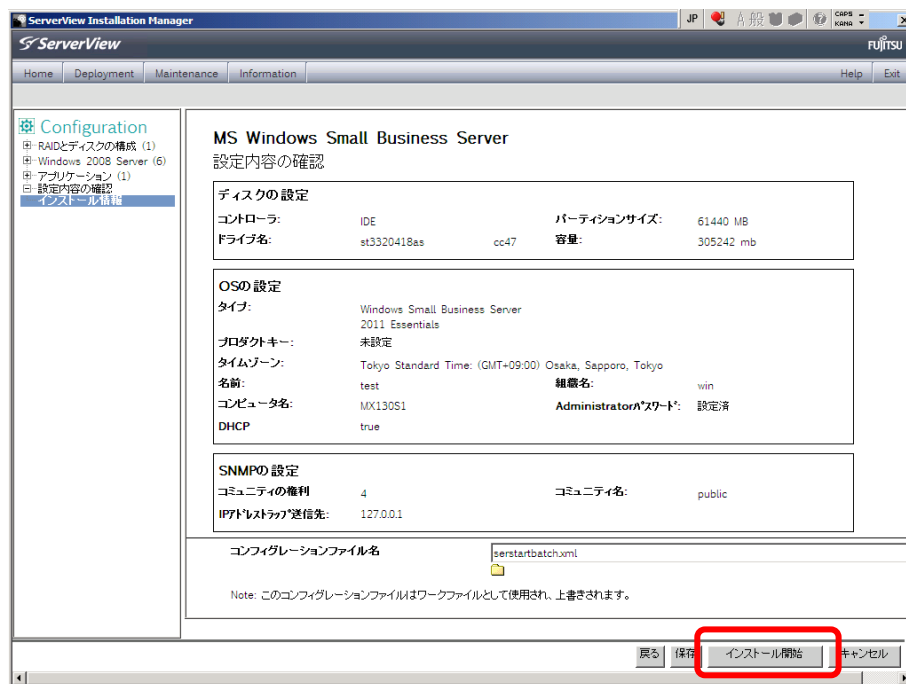
(16)「アプリケーションウィザード」画面が表示されるので、「Software Packages for JAPAN」の左にある[+]をクリックし、内容を展開します。

展開した中から「ServerView アップデートエージェント」のチェックを外し、「次へ」をクリックします。



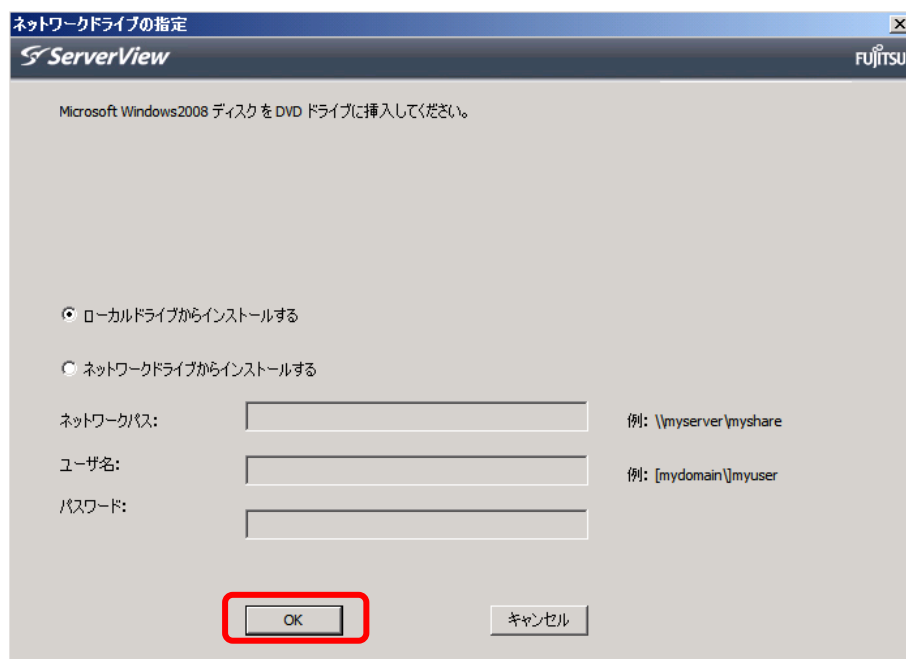
※ SBS2011 EssentialsではSVIMを使用してインストールしたServerView アップデートエージェントが正しく動作しないためインストールしません。

(17)「設定内容の確認」画面が表示されるので、内容を確認し[インストール開始]をクリックします。

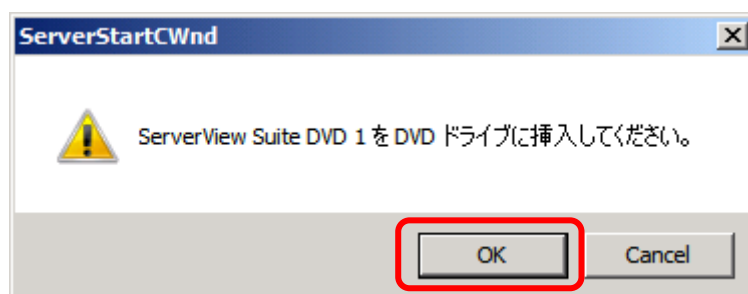


(18)メディア交換を指示する以下の画面が表示されますので、指示に従い複数回メディアの交換を行います。

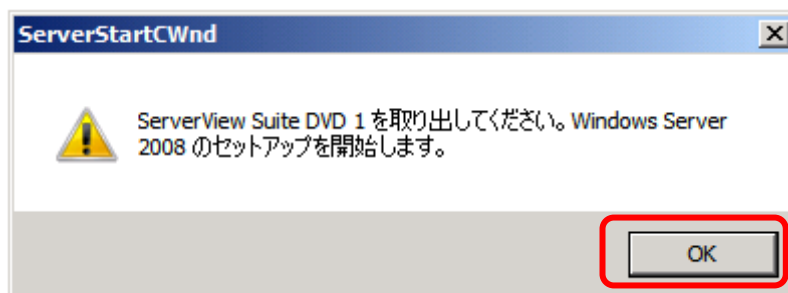
- ・「Microsoft Windows2008 ディスクを DVD ドライブに挿入してください。」と表示された場合、[Windows Small Business Server 2011 Essentials]メディアを挿入し[OK]をクリックします。



- ・「ServerView SuiteDVD 1を DVD ドライブに挿入してください。」と表示された場合、
[ServerView Suite DVD 1]メディアを挿入し[OK]をクリックします。



- ・「ServerView SuiteDVD 1を取り出してください。」と表示された場合、
[ServerView Suite DVD 1]メディアを取り出し[OK]をクリックします。

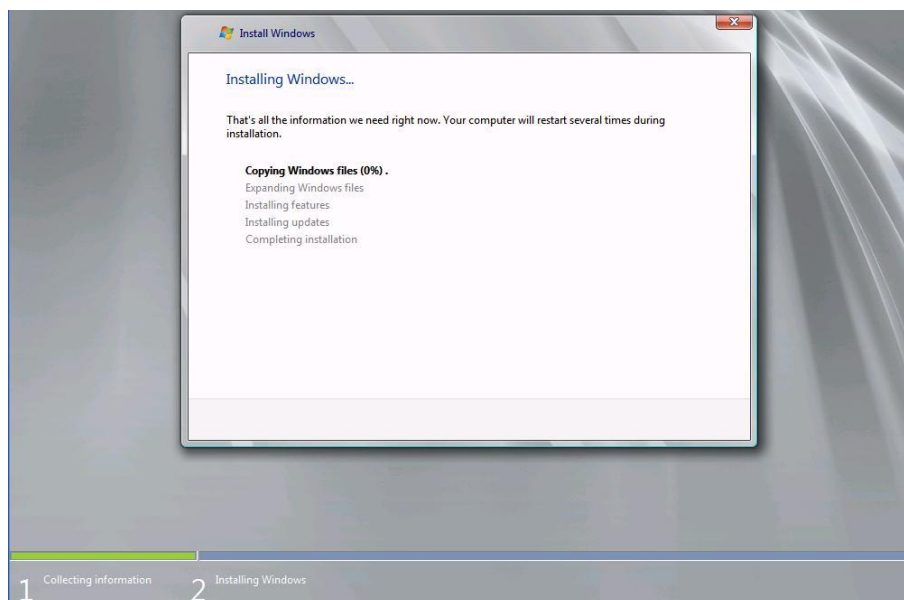


3.2 Windows Server インストール

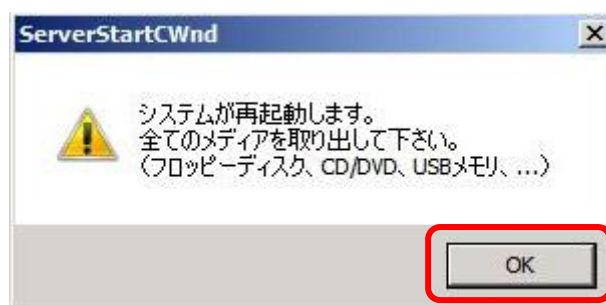
ここから「Windows Server インストール」のフェーズに入ります。

なお、このフェーズでは複数回システムが再起動します。

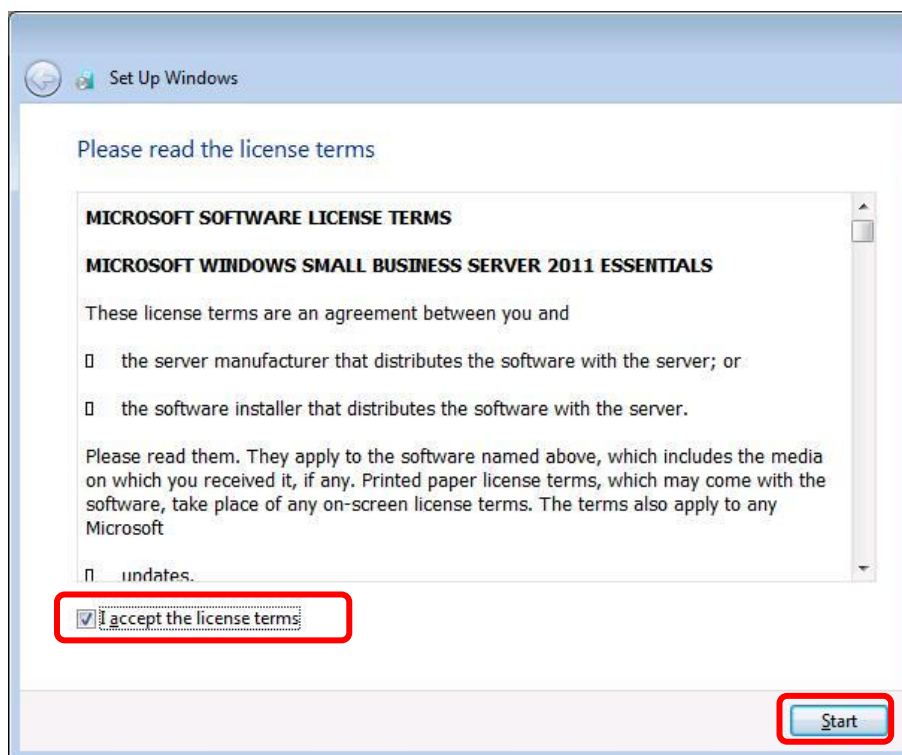
(環境によっては時間が異なることがありますが、下の画面が一時間ほど表示されます。)



(19)画面の指示に従い、「Windows Small Business Server 2011 Essentials」および「USB メモリ」を取り出し、[OK]をクリックします。



(20)ライセンスの同意画面が表示されるので、内容を確認し[I accept the license terms]にチェックを入れて、[Start]をクリックします

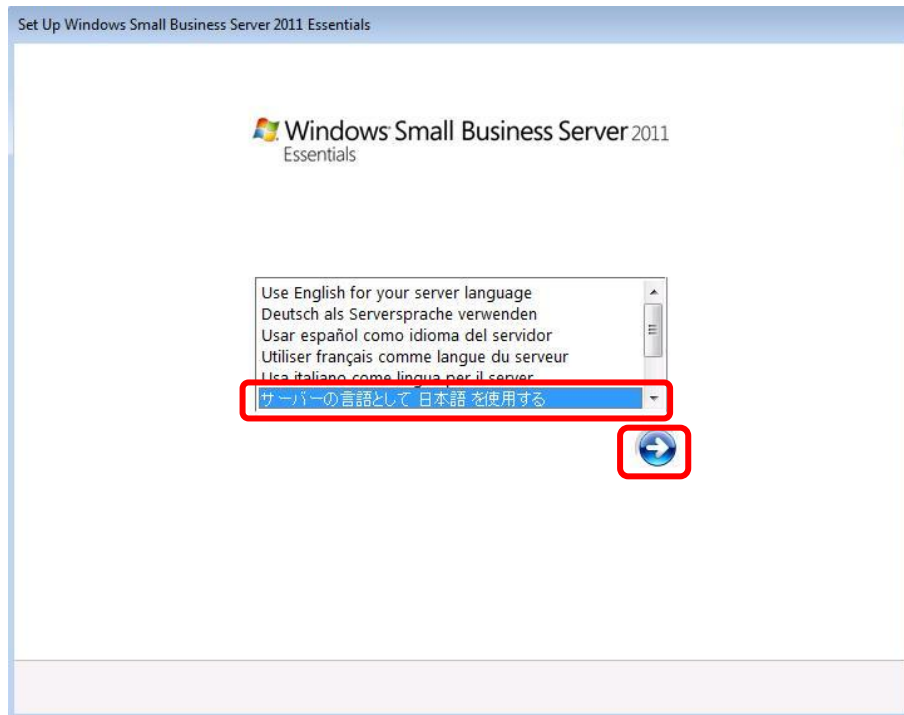


(21)システム再起動後、インストール用に登録したビルトイン Administrator のパスワードでログオンします。

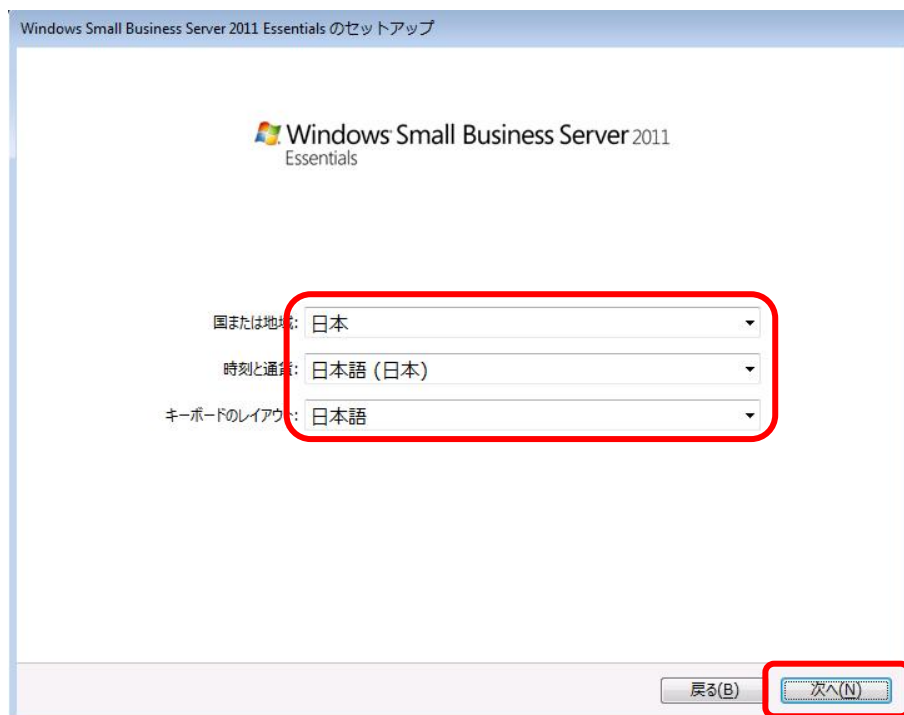


3.3 SBS 2011 インストール

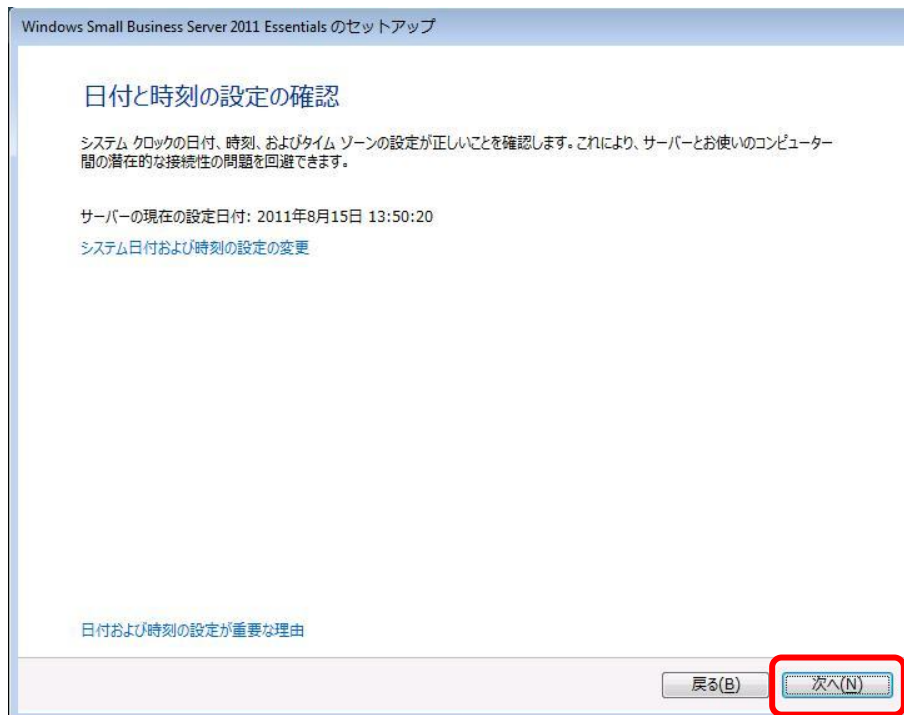
(22)「Windows Server インストール」のフェーズが終了し、「Windows Small Business Server 2011 Essentials のセットアップ」画面が表示されます。[サーバーの言語として日本語を使用する]を選択して、[→(矢印)]をクリックします。



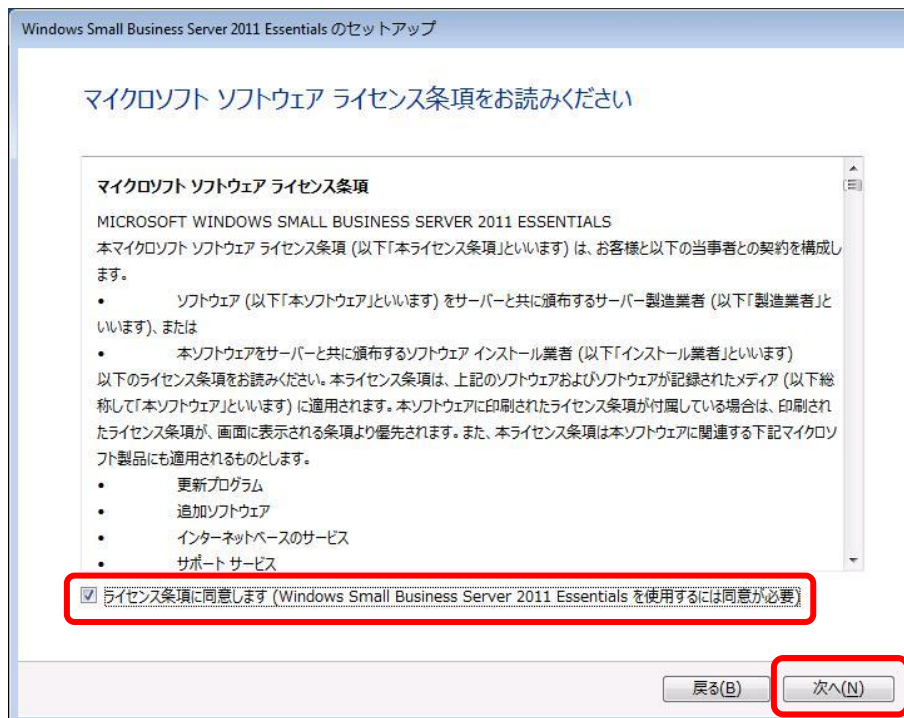
(23)「国または地域」、「時刻と通貨」、「キーボードのレイアウト」を上段から順に[日本]・[日本語(日本)]・[日本語]を選択し、[次へ]をクリックします。



(24)「日付と時刻の設定の確認」画面が表示されます。時刻とタイムゾーンを変更する場合は[システム日付および時刻の設定の変更]をクリックします。変更作業終了、または変更が無い場合は[次へ]をクリックします。



(25)「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」画面が表示されます。記載の内容を確認の上、[ライセンス条項に同意します]をチェックし、[次へ]をクリックします。



(26)「サーバーを個人用にカスタマイズします」画面が表示されます。会社名、内部ドメイン名、サーバー名を入力し、[次へ]をクリックします。

Windows Small Business Server 2011 Essentials のセットアップ

サーバーを個人用にカスタマイズします

この情報はネットワーク上でサーバーを識別するのに使用します。

会社名:

内部ドメイン名:

(たとえば、Contoso Co. の場合は CONTOSO を選択します)
内部ドメイン名はビジネス ネットワークを識別し、ユーザーがコンピューターにログインする際はこのドメイン名が表示されます。
内部ドメイン名は、インターネット ドメイン名とは異なり、ネットワークの外からは見えません。

サーバー名:

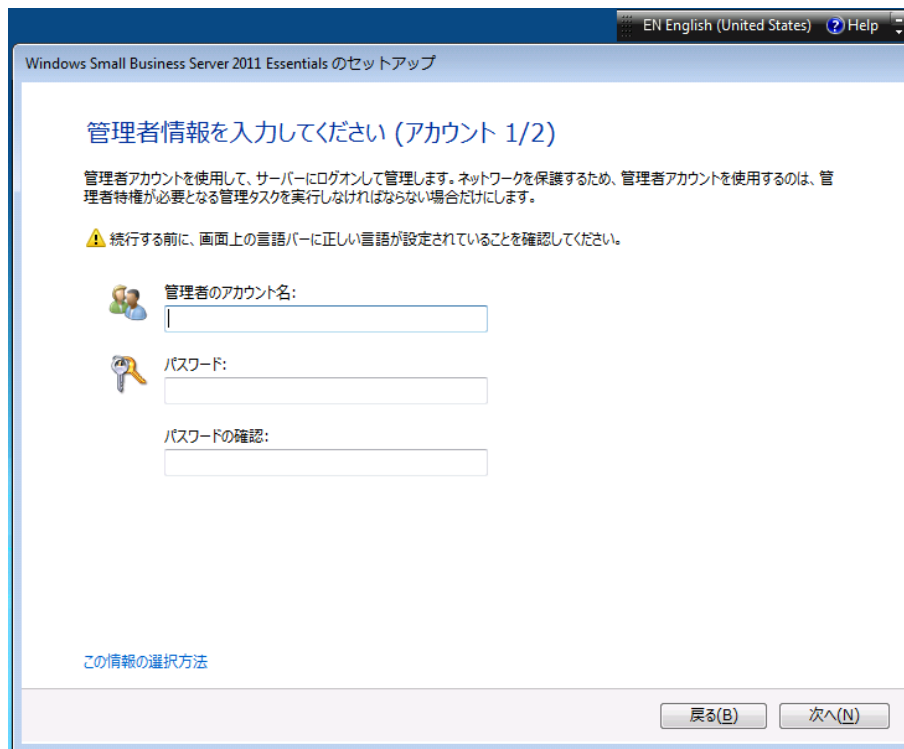
(たとえば、Contoso Co. の場合は ContosoServer を選択します)
サーバー名は、ネットワークに存在するサーバーを一重に識別します。

⚠ サーバーのセットアップ後は、これらの設定は変更できません。
サーバーを個人用にカスタマイズする前に知っておくこと

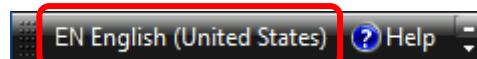
戻る(B) 次へ(N)

(27)「管理者情報を入力してください(アカウント 1/2)」画面が表示されます。

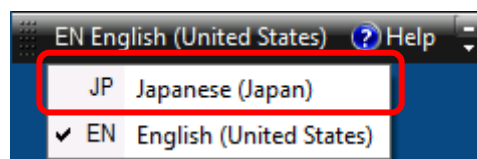
※ 画面右上の言語バーは表示されない場合があります。



言語バーが英語[EN English(United States)]となっている場合は、日本語[JP Japanese(Japan)]へ変更するため、言語バーの[EN English(United States)]をクリックします。



次に[JP Japanese(Japan)]を選択し、クリックします



言語バーが日本語[JP Japanese(Japan)]に変更されます。



(28) 管理者のアカウント名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

Windows Small Business Server 2011 Essentials のセットアップ

管理者情報を入力してください (アカウント 1/2)

管理者アカウントを使用して、サーバーにログインして管理します。ネットワークを保護するため、管理者アカウントを使用するのは、管理者特権が必要となる管理タスクを実行しなければならない場合だけにします。

⚠ 続行する前に、画面上の言語バーに正しい言語が設定されていることを確認してください。

管理者のアカウント名:
パスワード:
パスワードの確認:

[この情報の選択方法](#)

戻る(B) 次へ(N)

※ 管理者情報

サーバーを管理するためのユーザーアカウントです。

管理者特権が必要となる管理タスクを実行する場合だけ管理者情報を使用します。

[管理タスクの例]

- ・バックアップのスケジュール設定
- ・ユーザーアカウントの追加や削除
- ・ファイルの共有やアクセス許可の設定

(29)「標準のユーザーアカウント情報を入力してください(アカウント 2/2)」が表示されます。標準のユーザーアカウント名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

Windows Small Business Server 2011 Essentials のセットアップ

標準のユーザー アカウント情報を入力してください (アカウント 2/2)

ネットワークを保護するため、標準のユーザー アカウントを使用してネットワークにログオンし、共有フォルダーへのアクセスなどの日常的な標準タスクを実行します。管理者アカウントを使用するのは、管理者特権が必要となる管理タスクを実行しなければならない場合だけにします。

⚠ 続行する前に、画面上の言語バーに正しい言語が設定されていることを確認してください。

標準のユーザー アカウント名:
パスワード:
パスワードの確認:

この情報の選択方法

戻る(B) 次へ(N)

※標準のユーザーアカウント情報

共有フォルダーへのアクセスやリモート Web アクセス等、日常的な標準タスクを実行するときには標準のユーザーアカウント情報を使用します。

インストール後に、本画面で設定した標準のユーザーアカウント以外の、標準のユーザーアカウントを追加することができます。

(30)「サーバーを自動的に最新の状態に保ちます」が表示されます。自動更新の方法[推奨設定を使用します]、[更新プログラムのみをインストールする]、[更新プログラムをチェックしない]のいずれかをクリックします。

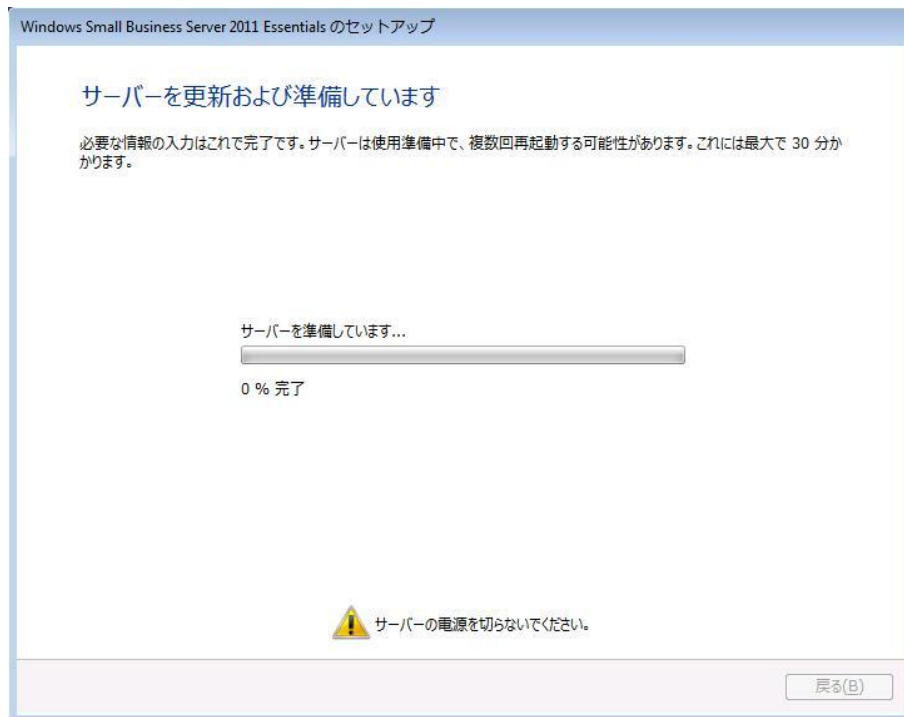


(31)「サーバーを更新および準備しています」画面が表示されます。

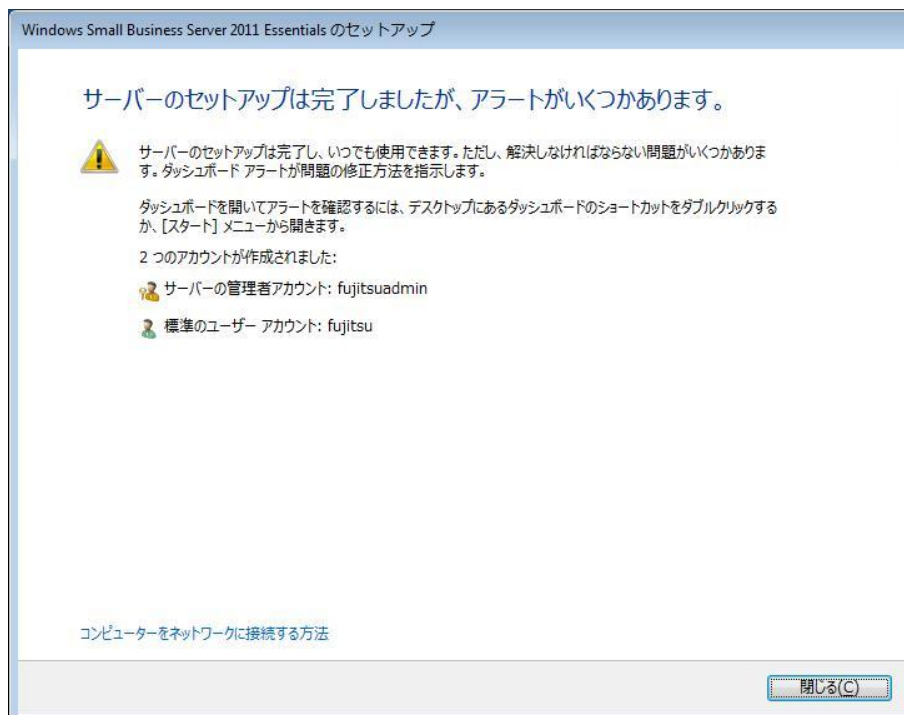
(環境によっては時間が異なることがあります。完了画面に遷移するまで一時間ほどかかります。)
尚、複数回再起動する可能性があります。その時

『ログオンするには Ctrl + Alt + Del を押してください』

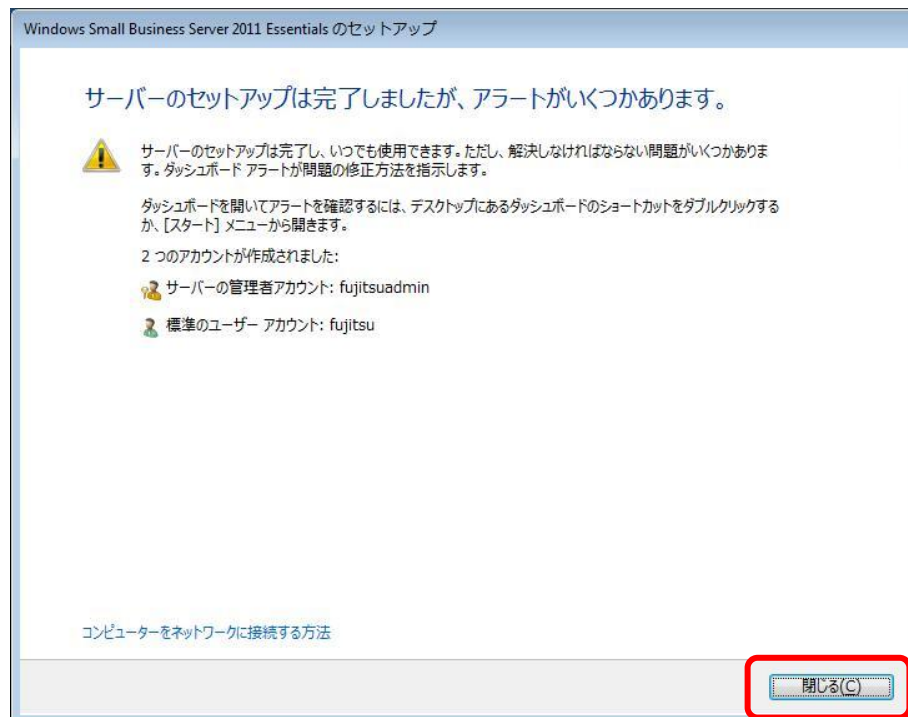
と表示されますが、完了画面になるまで、操作は必要はありません。



【完了画面】



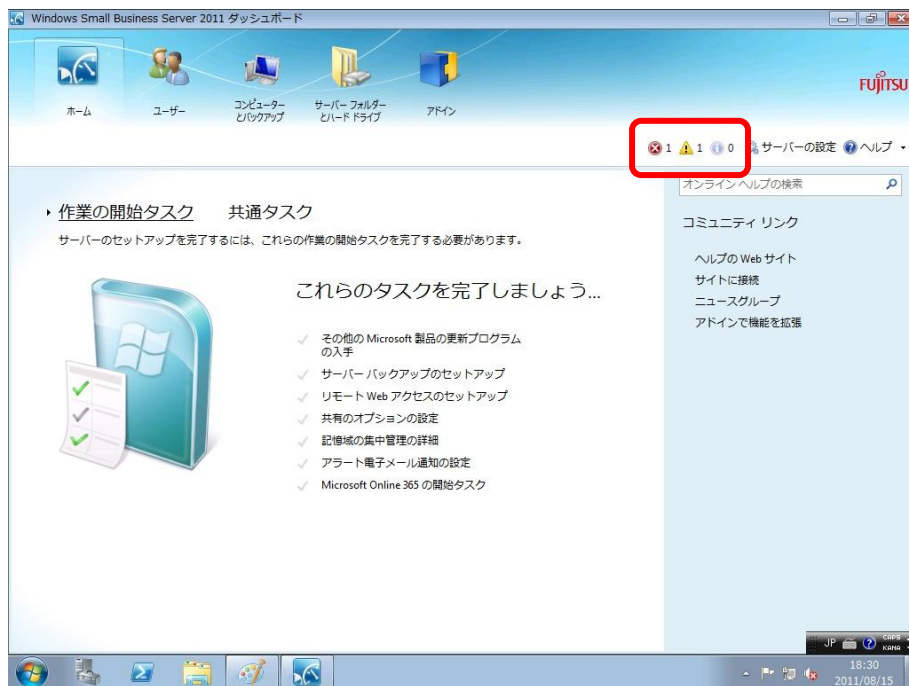
(32) インストールが完了すると「サーバーのセットアップは完了しましたが、アラートがいくつかあります。」画面が表示されます。[閉じる]をクリックします。



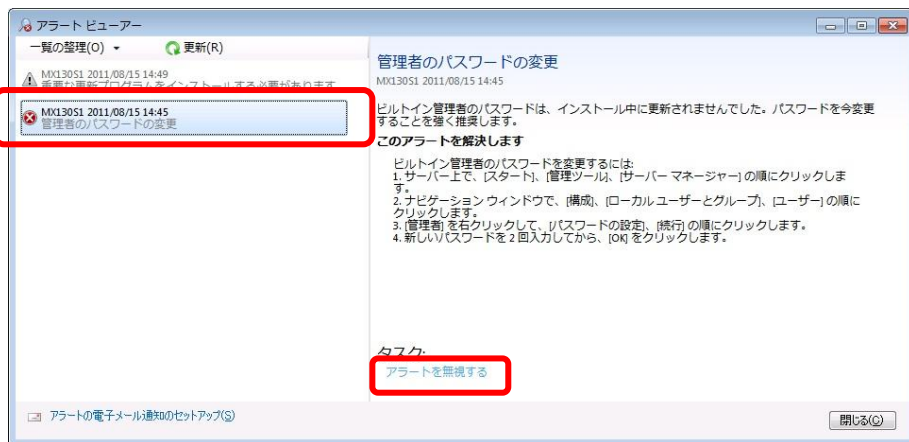
(33) 運用に影響のないアラートを「無視」するには以下の対応を行います。
デスクトップの「ダッシュボード」をダブルクリックします



(34)「ダッシュボード」画面が表示されます。「サーバーの設定」左側をクリックします。



(35)「アラート ビューアー」画面が表示されます。画面左側の一覧から[管理者のパスワードの変更]を選択し、画面下のタスク[アラートを無視する]をクリックします。



「アラートを無視する」画面が表示されます。[はい]をクリックします。



(36)[閉じる]をクリックします。



(37)画面右上の[×]をクリックします。



(38) ServerView アップデートエージェント

(BIOS/ファームウェア/ドライバなどを更新するためのソフトウェアです。ServerView Update Manager からの指示を受けて動作します。)

※ ServerView Update Manager でアップデートの管理を行う場合、インストールしてください。

①インストール方法については

「『DVD1 のソフトウェア留意事項』の『ServerView Update Agent の留意事項』」

をご参照ください。(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note/svsdvd/>)

以上で、PRIMERGY への SBS2011 Essentials のインストールは完了です。

SBS2011 Essentials を利用する準備が整いましたので、必要に応じてマイクロソフト社の資料を確認して運用してください。

<http://www.microsoft.com/japan/sbs/technologies/document.mspx>

富士通 PC サーバーPRIMERGY につきましては、以下の技術情報を参照願います。

・PC サーバーPRIMERGY

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

・PC サーバーPRIMERGY 機種比較表

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/catalog/select-spec/>

・サーバー選定ガイド

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/technical/select-model/>

富士通 PC サーバーPRIMERGY のお問い合わせ先。

・PC サーバー PRIMERGY (プライマジー) のお問い合わせ

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/contact/>

富士通 Windows Small Business Server 2011 Essentials ご紹介

・Windows Small Business Server 2011 Essentials ご紹介

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/products/sbs-essentials/>

富士通の Windows 情報

・富士通の Windows 情報

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>

ServerView Installation Manager – 取扱説明書

・ServerView Installation Manager – 取扱説明書

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note/svsdvd/>



shaping tomorrow with you